

社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会

事業報告

令和4年度は、数年続く新型コロナウイルス（以下コロナ）感染拡大の第7波・8波があったものの年度末は収束に向けた傾向が見られた1年でした。ただ、各種活動が通常に戻るにはまだ時間がかかることが予想される状況です。市民にとっての影響も大きく「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援給付金（以下支援給付金）」の申請が終了するとともに、「緊急小口資金」や「総合支援資金」のコロナ特例貸付の償還も始まったことで本会窓口への問い合わせが急増しました。また、コロナ特例貸付の償還に関連し、債権者フォローアップ事業を大阪府社会福祉協議会から受託することになりました。

地域福祉分野では、重層的支援体制整備事業の一環として実施しているアウトリーチ事業の新規相談件数が増加し、CSWの稼働が増えている状況です。

在宅福祉分野では、移動支援事業（ガイドヘルプ）において、コロナの影響により、利用時間が減少しましたが、コロナの規制緩和に伴い利用を控えていた利用者も増加しつつあります。

本会としては、このような情勢の中、令和3年度に策定した「経営戦略プログラム第4期」の初年度として、重点項目を実現すべく各種取り組みを行いました。プログラムの「事業戦略」「財務戦略」「人事戦略」のもと、安定した財務状況と人材の確保による既存事業の安定運営を行いました。同時に、新たな挑戦として、ルファルひらかた社協5階を活用し、これまで本会が十分に組み合わせていなかったテーマ型福祉活動団体との連携を強化すべく、ひらかた社協ふくしプラットホーム「ひらプラ」を開設しました。

1. 法人組織の強化

○経営戦略プログラム（第4期）の進行

令和4～8年度の本会の強化発展方針を定める経営戦略プログラム（第4期）のもと、各重点項目の実現に取り組みました。

2. 重層的支援体制整備事業の実施

○アウトリーチの強化

令和4年度からスタートした重層的支援体制整備事業のひとつ「アウトリーチ事業」により、新規相談が増加、CSWによる訪問を重点的に行いました。

3. 生活支援活動

○こうけん ひらかた（ひらかた権利擁護成年後見センター）の受託運営

昨年7月に枚方市より、「ひらかた権利擁護成年後見センター（こうけん ひらかた）」の運営を受託し、権利擁護に関する地域連携ネットワークづくりとともに、多くの市民への相談対応を行いました。

○「新型コロナウイルス特例貸付債権者フォローアップ事業」の開始

令和5年1月から新型コロナウイルス特例貸付の償還が始まったことで、債権者からの様々な問い合わせに対応するためのフォローアップ事業をスタートしました。

4. 在宅福祉活動

○新拠点において相談の広がり

地域支援センターゆいでは、新拠点に移転したことによって、包括支援センター等との連携により障害種別にとらわれない多様な相談に対応しました。

○障害のある人の地域生活を支える取り組み

コロナ禍においても、障害のある人たちの地域での生活を支えるために必要不可欠なエッセンシャルワーカーとして、感染対策に細心の注意を払いながら、ホームヘルプサービスおよびガイドヘルプのサービスを提供しました。グループホームにおいても同様に、世話人・支援員が利用者の生活を支えました。

1. 法人運営事業

(1) 理事会開催状況

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
5/31	ラポールひらかた 研修室 1	・令和3年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について ・理事候補者の評議員会提出について ・評議員選任・解任委員の選任について ・枚方市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営規程の一部改正について ・令和4年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分（第1回）及び公益事業区分（第1回）収入支出補正予算について ・評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の開催について ・評議員会の招集について ・社会福祉充実計画について（報告） ・目的別積立金について（報告） ・基金・積立金について（報告）	理事 13 監事 1
9/13	ラポールひらかた 研修室 1	・会長、常務理事の職務執行状況について（報告） ・法人経営部会の報告について（報告） ・ルファルひらかた社協における新規事業について ・令和4年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第2回）について ・枚方市社会福祉協議会職員の給与改定について ・枚方市社会福祉協議会育児休業等に関する規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会介護休業等に関する規則の一部改正について ・評議員会の招集について ・枚方市社会福祉協議会公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）の募集について（報告） ・基金・積立金の状況について（報告）	理事 10 監事 2
12/16	ラポールひらかた 大研修室	・法人経営部会の報告について（報告） ・ルファルひらかた社協における新規事業の進捗状況について（報告） ・コロナ緊急小口資金等の特例貸付の借受人へのフォローアップ支援について（報告） ・令和4年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第3回）について ・枚方市社会福祉協議会給与に関する規則の一部改正について ・枚方市社会福祉協議会再雇用職員の給与等に関する規程の一部改正について ・理事候補者の評議員会提出について ・評議員候補者の推薦および評議員選任・解任委員会の開催について ・評議員会の招集について ・基金・積立金の状況について（報告） ・枚方市社会福祉協議会公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）の助成団体決定について（報告）	理事 11 監事 2

12/23	ラポールひらかた 研修室 1	・副会長の選任について	理事 1 2 監事 2
3/1	ラポールひらかた 研修室 1	・会長・常務理事の職務執行状況について（報告） ・法人経営部会・地域福祉活動部会合同会議の報告について（報告） ・共同募金配分金事業令和 5 年度の配分計画（案）について ・経理規程の一部改正について ・会員規程の一部改正について ・給与に関する規則の一部改正について ・役員等賠償責任保険契約の締結について ・令和 4 年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分（第 4 回）及び公益事業区分（第 2 回）収入支出補正予算について ・評議員会の招集について ・令和 5 年度枚方市社会福祉協議会事業計画ならびに予算（案）について ・基金・積立金の状況について（報告）	理事 1 5 監事 2

（２）部会開催状況

法人経営部会

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
8/18	ラポールひらかた 特別会議室 1	・ルファルひらかた社協の活用について ・その他	6
11/24	ラポールひらかた 集会室	・ルファルひらかた 4・5 階の進捗状況について ・共同募金配分金事業令和 4 年度の配分計画の変更について ・住民会員募集改正案について ・その他	5

地域福祉活動部会

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
11/24	日程の調整がつかず、決議の省略	・共同募金配分金事業令和 4 年度の配分計画の変更について	—

（３）評議員会開催状況

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
6/24	ラポールひらかた 研修室 1	・令和 3 年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について ・役員の選任について ・令和 4 年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分（第 1 回）及び公益事業区分（第 1 回）収入支出補正予算について ・各種規程・規則の改正について（報告）	評議員 2 6 理事 1 3 監事 2
9/26	枚方市総合文化 芸術センター本館 1 階 創作活動室	・令和 4 年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第 2 回）について ・各種規程・規則の改正について（報告） ・枚方市社会福祉協議会公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）の募集について（報告）	評議員 2 4 理事 1 2 監事 2

12/23	ラポールひらかた 研修室1	・役員の選任について ・令和4年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第3回）について ・各種規程・規則の改正について（報告） ・枚方市社会福祉協議会公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）の助成団体決定について（報告）	評議員 24 理事 10 監事 2
3/27	ラポールひらかた 大研修室	・令和4年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分（第4回）及び公益事業区分（第2回）収入支出補正予算について ・令和5年度枚方市社会福祉協議会事業計画ならびに予算（案）について ・会員規程の一部改正について ・各種規程・規則の改正について（報告）	評議員 25 理事 12 監事 2

（４）枚方市社会福祉協議会経営戦略プログラム（第４期）の策定（R4年度～R8年度）

令和3年度に策定した、第4期プログラムの重点項目に定めた内容に従い、実現に向けた取り組みを着実に進めた。計画の進捗状況をチェックするための評価会議も設置した。

令和4年度は特に「財務戦略」による財務の安定を図りつつ、「事業戦略」の新たなチャレンジとして、テーマ型福祉活動支援のための福祉プラットフォーム「ひらプラ」を開発するなど複数の取り組みを具体化した。

（５）第6次地域福祉活動計画（R2年度～R6年度）

第6次地域福祉活動計画の進捗状況の報告や地域での活動状況の共有を行う「ふくしのまちづくり円卓会議」を開催した。コロナ禍での福祉教育の取り組みや重層的支援体制整備事業の進捗状況、居場所づくり等について報告し、各委員からの意見、評価をいただいた。

（６）公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）助成事業

市民が自らの力で福祉課題を解決していくことを支援するため、令和5年度分公募事業助成基金「市民ふくし活動チャレンジ基金」の助成団体を募集。スタートアップ助成とステップアップ助成の申請が各1件あった。

選考委員会での書類審査およびプレゼンテーションを実施した結果、1件のスタートアップ助成団体を決定した。

（単位：円）

助成決定団体	内 容	金 額
あたらしい学校をつくる会 Hyggeの舎 (スタートアップ助成)	日本は質の高い画一的な教育により教育水準が高い一方、学校教育になじめなかった児童・生徒にとって選択の幅が極端に少ない現実がある。これまでの団体の活動から不登校等の事情に関わらず新たな教育環境を求める人たちが少なからず居ることを強く感じてきた。 今の超少子高齢社会の中、子ども達は将来の日本・世界の重要な社会の担い手であり、それぞれが尊重されるべき「個」として、保護者世代が受けてきた固定観念にとらわれず、教育の多様性を目指し、オルタナティブスクール(もうひとつの学校)を実施する。 具体的には ・1条校では実施しにくい個の特性に合った教育としての受け皿 ・不登校により自信を喪失した子ども達や保護者のケア ・様々な特別講師を迎えての体験授業 他	500,000 (3年間)

(7) 広報活動

① 社協だよりの発行

(単位：部)

号	発行日	印刷部数	号	発行日	印刷部数
156	6/1	190,000	157	9/1	190,000
158	12/1	190,200	159	3/1	190,200

※年4回発行、「広報ひらかた」と同時に、市内全戸配布

② ホームページ・SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）による広報

- ・ホームページを中心に SNS（Facebook・Twitter・YouTube）を活用した発信を行った。
- ・令和5年2月に LINE 公式アカウントを開設した。

(8) ひらかた社協ふくしフェスティバル

第11回 ひらかた社協ふくしフェスティバルを開催。市内のボランティアグループや福祉団体、本会の組織会員や公募事業助成基金の助成団体などと連携し、3年ぶりに対面型で実施した。また YouTube を活用し、ステージの一部をオンラインでライブ配信した。

(日 時) 令和4年11月23日(祝) 午前10時～午後3時

(場 所) ラポールひらかた

(主 催) 枚方市社会福祉協議会 (後 援) 枚方市

(参加者) 約1,000人

(内 容) *ボッチャ大会「第1回ひらかた社協カップ」を開催
*スクエアボッチャやモルック、カーリンコンなどのパラスポーツ体験ブース
*枚方なぎさ高校美術部とのコラボによる寄付つきオリジナルグッズの配布
*キッチンカーや模擬店、音楽ライブ、ダンスのステージ
*ボランティアグループ、各種団体の活動紹介や啓発 等

(9) 枚方市健康・医療・福祉フェスティバル

新型コロナウイルス感染拡大により中止。

(10) 善意銀行事業

① 善意銀行金銭口座収支計算書

(単位：円)

収 入		支 出		
前年度繰越金	4,868,961	指 定 預 託	福祉施設団体等	20,000
一 般 預 託	0			
指 定 預 託	20,000			
預 金 利 息	0			
計	4,888,961	計		20,000

収入・支出残金 4,868,961円は、次年度へ繰り越し。

(11) 枚方市民生委員児童委員協議会の運営支援

民生委員・児童委員は住民の身近な相談相手であり、支援を必要とする人と専門機関をつなぐパイプ役を務めている。民生委員・児童委員が地域で円滑に活動が行えるよう、事務局として民児協の運営を支援した。本年度も新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた啓発活動や行事が中止となった。12月には一斉改選により新しい委員が96人委嘱されたため新任委員を含めて民生委員・児童委員活動について理解を深める支援に努めた。

実 施 日	事 業 内 容
4月 1日 4日 14日 第4週	子育てマップ2022発行 枚方市民生委員・児童委員委嘱状交付式 新任民生委員児童委員研修会 役員会・校区委員長会 地区委員会（14地区）
5月 1日 9日 12日 19日 第4週	民児協ひらかた第144号発行 会計監査 役員会・校区委員長会 枚方市民生委員・児童委員大会 研修 映画上映「梅切らぬバカ」 地区委員会（14地区）
6月 9日 24日 第4週	役員会・校区委員長会 役員会 地区委員会（14地区）
7月 1日 14日 29日 第4週	役員会 役員会・校区委員長会 役員会 地区委員会（14地区）
8月 1日 22日	民児協ひらかた145号発行 役員会
9月 8日 12日～14日 第4週	地区リーダー管外研修 研修先「北淡震災記念公園」 認知症に関する体験型研修会（認知症フレンドリー講座） 地区委員会（14地区）
10月 13日 第4週	役員会・校区委員長会 地区委員会（14地区）
11月 10日 23日 第4週	役員会・校区委員長会 「児童虐待防止啓発活動」（ひらかた社協ふくしフェスティバル） 地区委員会（14地区）
12月 1日 5日 8日 13日、17日 第4週	民児協ひらかた第146号発行 枚方市民生委員・児童委員委嘱状交付式 退任者感謝状贈呈式（枚方市） 役員会・校区委員長会 新任民生委員児童委員研修会 地区委員会（15地区）
1月 10日 12日 19日 26日	民生委員・児童委員全体研修（枚方市） 役員会 民児協全体研修（枚方市） 河北ブロック民生委員児童委員協議会連絡会総会
2月 3日 9日 第4週	地区委員長・校区委員長研修 役員会・校区委員長会 地区委員会（15地区）
3月 6日 9日 17日 18日	役員会（予算ヒアリング） 役員会・校区委員長会・総会リハーサル 総会（予算・事業計画）・研修会「枚方市総合文化芸術センター」 研修「ヤングケアラーについて」講師：枚方市職員 民児協座談会

（１２）枚方市赤十字奉仕団の運営支援

人間の命と健康、尊厳を守る人道の実現をめざす赤十字運動の推進を図るため、枚方市赤十字奉仕団の運営支援を行った。新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、赤十字運動をはじめ、健康生活支援員養成講習の開催ができた。

①活動資金募集の実績（令和４年５月１日～令和５年３月３１日）

枚方市地区分	9, 778, 423円
府支部直送分	6, 382, 057円
合 計	16, 160, 480円

②役員会 4／21・11／15・3／29に実施

③連合分団長会議

（単位：人）

月 日	場 所	内 容	出席数
5/30	ラポールひらかた 大研修室	・令和３年度赤十字活動資金募集実施状況について ・令和３年度事業報告及び決算報告について ・令和３年度監査報告について ・令和４年度全体研修開催について	26
11/1	ラポールひらかた 研修室１	・令和４年度赤十字活動資金の中間報告について ・地域活動助成金について ・枚方市赤十字奉仕団大会について ・令和４年度全体研修開催について	22
3/29	ラポールひらかた 研修室１	・令和４年度赤十字活動資金募集の報告について ・令和４年度決算見込みについて ・令和５年度事業計画・予算について ・令和５年度赤十字運動について ・災害義援金の受付及び募金箱の設置について	27

④枚方市赤十字奉仕団大会

日 時：令和４年１２月６日（火）

場 所：枚方市総合文化芸術センター別館

第１部 感謝状表彰式

第２部 内容：「風水害に備える防災のまちづくり」

講師：枚方市危機管理部職員

⑤部会活動状況（役員会は除く）

（ア）婦人部会

（単位：人）

月 日	場 所	内 容	出席数
5/10	ラポールひらかた 研修室１	・令和３年度事業報告及び決算報告について ・管外研修について ・管内研修について	18
5/25	もりやまエコパーク 環境センター	・婦人部会管外研修	13
10/25	ラポールひらかた 研修室１	・婦人部会管内研修について ・赤十字奉仕団大会について	18
1/30	ラポールひらかた 大研修室	・認知症について	53
3/28	ラポールひらかた 研修室１	・令和５年度婦人部会事業計画（案）について ・令和５年度婦人部会予算（案）について ・令和５年度赤十字運動について ・婦人部会会員名簿の提出について	20

(イ) 家庭看護部会

※参加協力事業（役員会は除く）

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
4/5	ラポールひらかた 研修室 3	勉強会 ・くらわんか体操コース	20
4/19	ラポールひらかた 研修室 1	定例会 ・ボランティアと心のケア	17
5/17	ラポールひらかた 研修室 3	定例会 ・災害時高齢者生活支援講習	17
6/21	ラポールひらかた 研修室 1	定例会 ・心肺蘇生・AED	19
7/5	ラポールひらかた 研修室 1	勉強会 ・介護保険制度（出前講座）	14
7/19	ラポールひらかた 研修室 1	定例会 ・熱中症について	13
9/6 9/20 9/27 10/4 10/18	ラポールひらかた 研修室 1	健康生活支援講習会関連	18
11/1	神戸人と防災未来 センター	管外研修	19
11/15	ラポールひらかた 研修室 1	高齢者支援講習（車椅子介助）	13
11/23	ラポールひらかた	ひらかた社協ふくしフェスティバル	13
12/6	ラポールひらかた 研修室 1	三角巾・包帯法	14
12/20	ラポールひらかた 研修室 1	尿漏れ防止	14
1/17	ラポールひらかた 研修室 1	交流会	21
2/7	ラポールひらかた 研修室 1	町で力を合わせて安全安心街づくり（出前講座）	12
2/21	ラポールひらかた 研修室 1	災害時の乳幼児支援（日赤大阪府支部幼児安全法）	18
2/25	ラポールひらかた	よどがわ防災まつり	16
3/7	ラポールひらかた 研修室 1	薬の正しい使い方（出前講座）	17

(13) 枚方・交野地区保護司会の運営支援

保護司の職務を支援する組織として枚方・交野保護区(枚方市・交野市)の範囲で活動を行う枚方・交野地区保護司会の事務局として、定期研修（年4回）・理事会・定例会等の定期事業の他に、更生保護関係組織（更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会など）との連携支援、7月を強調月間とする「第72回社会を明るくする運動」の運営支援を行った。

また、地域更生保護活動の拠点でもある「枚方・交野地区更生保護サポートセンター」において、保護司の処遇活動の支援のほか、地域の教育・防犯・社会福祉関係機関や団体との連携、犯罪・非行の予防活動、更生保護関係の情報提供、住民からの各種相談に応えた。

保護司数は、98人（令和5年3月31日現在）

①定期事業（総会・定例会・研修事業など）

月日	場 所	内 容
4/20	ラポールひらかた	理事会 *定例会提出案件について
		定例会 *各部からの報告
		部 会 *各部の活動について
5/11	ラポールひらかた	監 査 *令和3年度 事業報告・決算について
5/26	ラポールひらかた	理事会 *決算総会に向けて *定例会提出案件について
		決算総会 *令和3年度事業報告・決算
		定例会 *第72回社会を明るくする運動について 他
6/23	ラポールひらかた	理事会 *河北ブロック連絡協議会、更生保護団体合同研修について 他
		第1期定期研修 『高齢又は障害のある対象者の処遇について』
		定例会 *再任保護司委嘱状伝達 *第72回社会を明るくする運動について 他
7/21	ラポールひらかた	理事会 *定例会提出案件について *第72回社会を明るくする運動（式典・講演会）報告
		定例会 *第72回社会を明るくする運動（式典・講演会） アンケート報告 *自主教材「少年法入門」の配布 他
		各部会 *各部の活動について
8/19	交野市立保健福祉 総合センター	理事会 *第72回社会を明るくする運動（街頭啓発）について 他
		保護司会・更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会合同研修 『あふれでたのはやさしさだった ～奈良少年刑務所 絵本と詩の教室～』 講師：寮 美千子 氏
		定例会 *各部の報告について
9/13	交野市立保健福祉 総合センター	理事会 *会長及び各部からの報告について
10/12	ラポールひらかた	理事会 *定例会提出案件について
		第2期定期研修 『少年法の改正について』
		定例会 *退任保護司紹介 *再任保護司委嘱状伝達 *各部の報告について
10/27	フェニーチェ堺	令和4年度 大阪更生保護大会
12/15	ラポールひらかた	理事会 *正副会長会報告、定例会提出案件について
		第3期定期研修 『“犯罪被害者等施策”及び “しよく罪指導プログラム”について』
		定例会 *保護司会指名推薦委員会委員の選出 他
2/3	交野市立保健福祉 総合センター	理事会 *関係機関との連携 他
		第4期定期研修 『交野女子学院の教育』 講師：交野女子学院 院長 兼平 優 氏
		定例会 *退任保護司・新任保護司紹介 *再任保護司・企画調整保護司委嘱状伝達 *各部からの報告
3/16	ラポールひらかた	理事会 *令和5年・6年度活動方針（案） *令和5年度事業計画・予算（案）について *令和5年・6年度役員改選について
		予算総会 *令和5年・6年度活動方針（案） *令和5年度事業計画・予算（案）について
		定例会 *各部の報告について

②正副会長会（１回） 11/14 役員調整会議の開催（２回） 3/9・3/30

③候補者検討協議会の開催（５回）〔中部〕 4/27・11/30 〔南部〕 5/30・1/12 〔東部〕 4/19

④更生保護啓発活動

月 日	場 所	内 容
5/2	ラポールひらかた	枚方・交野地区社会を明るくする運動実施委員会 ＊第 7 2 回社会を明るくする運動について
7/1	枚方市総合文化 芸術センター	第 7 2 回枚方・交野地区社会を明るくする運動 ＊アトラクション 関西外国語大学吹奏楽部 ＊式 典 ＊講 演 『命の授業 ～ドリー夢メーカーと今を生きる～』 講師：腰塚 勇人 氏
7 月～9 月		＊第 7 2 回社会を明るくする運動作文コンテスト(小中学生対象) 応募数 6 2 4 点 ＊両市中学 3 年生に、社明運動ロゴ入りクリアファイル配布 4, 1 0 1 枚 ＊街頭啓発 京阪・J R 各 2 駅で除菌ウェットティッシュを配布 5, 8 0 0 個

⑤関係団体との連携・懇談など

・学校との連携事業（５回）

さだ中学校(7/12)、津田中学校(7/12)、長尾西中学校(7/13)、山田中学校(8/1)

樟葉西中学校(11/1)

⑥広報活動

・広報誌「みのり」の発行 第 9 1 号(7/1) 2, 5 0 0 部、第 9 2 号(1/1) 3, 0 0 0 部

・ホームページの更新

・市広報への掲載 「広報ひらかた」 6 月号・8 月号 「広報かたの」 6 月号・7 月号

⑦更生保護サポートセンターの運営

・名 称 「枚方・交野地区更生保護サポートセンター（ひらかた・かたの）」

・開館日時 サポートセンター（ひらかた）火・水・木・土・日曜日 1 0 時～1 6 時

サポートセンター（かたの）月・火・木・金・土曜日 1 0 時～1 6 時

（年末年始及び国民の祝日、その他会長が指定する日を除く）

・所在地 サポートセンター（ひらかた）サンプラザ 1 号館 2 0 1 号室

サポートセンター（かたの）交野市役所別館 2 階

・開館状況 □開館日数 4 7 1 日 □企画調整保護司の従事者数 延べ 9 4 1 人

□対応件数 3 2 9 件 □来所者数 3 7 6 人

・企画調整保護司会議 □枚方開催 6 回、交野開催 2 回

（１４）枚方市社会福祉施設地域貢献連絡会の運営支援

市内の社会福祉法人が、連携・協力し、福祉課題の解決に向けた取り組みを行うことを目的に活動。本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染対策を行いイズミヤ枚方、アル・プラザ枚方の２か所で福祉なんでも出張相談会を開催した。また会員を対象とした研修会を２回実施し法人間の連携強化に努めた。加入法人：５９法人（令和５年３月３１日現在）

①総会の開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
5/27	オンライン開催	・第 1 号議案 令和 3 年度 事業報告について ・第 2 号議案 令和 3 年度 決算について ・第 3 号議案 令和 4 年度 事業計画(案)について ・第 4 号議案 令和 4 年度 予算(案)について	31 法人

②役員会の開催状況

（単位：人）

月 日	場 所	内 容	出席数
4/20	オンライン開催	・令和 3 年度事業報告・決算について ・令和 4 年度事業計画（案）・予算（案）について ・令和 4 年度総会の開催について ・令和 4 年度事業内容について ・その他、情報共有・意見交換等	1 3

7/12	ラポールひらかた 特別会議室 1	・中間の就労について ・令和 4 年度研修会（アウトリーチ型）について ・福祉なんでも出張相談会について ・ひらかた社協ふくしフェスティバルについて ・会費の納入状況について ・その他、情報共有・意見交換等	1 2
9/1	ラポールひらかた 大研修室	・福祉なんでも出張相談会について ・ひらかた社協ふくしフェスティバルについて ・研修会について	1 0
11/2	ラポールひらかた 特別会議室 1	・アウトリーチ型研修会アンケートまとめについて ・福祉なんでも出張相談会について ・ひらかた社協ふくしフェスティバルについて ・会費の納入状況について ・その他	1 0
12/21	ラポールひらかた 作業室	・福祉なんでも出張相談会（イズミヤ）について（報告） ・ひらかた社協ふくしフェスティバル（報告） ・福祉なんでも出張相談会（アル・プラザ）について ・人権研修について ・その他	1 1
2/1	ラポールひらかた 特別会議室 1	・福祉なんでも出張相談会（アル・プラザ）について ・人権研修について ・よどがわ防災まつりについて ・アウトリーチ型研修助成事業の報告 ・その他	9
3/14	ラポールひらかた 特別会議室 1	・人権研修について ・福祉なんでも出張相談会について（報告） ・よどがわ防災まつりについて（報告） ・「大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会連携推進助成事業」について ・総会について	9

③研修会等の開催

(単位：人)

月 日	開催方法	内 容	出席数
9/1	ラポールひらかた 大研修室 及び オンライン会議	【研修会】 テーマ 「社会福祉法人が策定する BCP（事業継続計画）について」 講師：コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do 栗原 英文 氏	3 5
3/14	ラポールひらかた 研修室 2 及び オンライン会議	【研修会】 テーマ 「施設内の虐待予防・対応について」 講師：久岡法律事務所 弁護士 久岡 英樹 氏	4 5

④福祉なんでも出張相談会の開催

月 日	場 所	相談件数
11/7、11/8	イズミヤ枚方	4 8 件
2/14、2/15	アル・プラザ枚方	3 0 件

⑤広報、啓発

- ・ひらかた社協ふくしフェスティバルにおいて地域貢献連絡会の紹介パネル展示と会員施設紹介コーナー、パンフレットの配布を行った。
- ・よどがわ防災まつりにおいて地域貢献連絡会の紹介パネル展示と会員施設紹介コーナー、子ども向けに災害関連 DVD の上映を行った。

(15) 冠基金（あなたの想いを届けます基金）事業

寄付者本人の想いを本会が聴き取りながら実現に向けて一緒に考え、具体的な形で市民に届ける基金制度を実施。基金設立のための寄付金は300万円以上としている。令和4年度は下記の2事業を実施した。

①木田基金

木田きせ様（故人）からの遺贈寄付により設立し、前年度に引き続き令和4年度も「木田さんからの祝いプロジェクト」により、経済的に苦しい小学校新入生がいるひとり親世帯を対象に「ランドセル購入補助（上限2万円）」を行い21人の対象者に補助金を支給した。

②幸子基金

幸子様からの寄付により設立し、昨年度に引き続き令和4年度も「次世代育成 幸子ファンド助成金」を募集。令和5年度助成分として枚方市内で若者等を対象に次世代育成に関する事業を行う1団体に助成を決定した。

（1団体につき上限20万円）

2. 住民会費等事業

本会の自主性を高め、行政の福祉施策とは違った住民主体の地域福祉活動を進めるために、校区福祉委員会を窓口として、校区コミュニティ協議会や自治会等の協力により、住民会員の募集を行った。集まった会費は、校区福祉委員会への活動助成をはじめ、ボランティア活動支援や社協だよりの発行など、「誰もが安心して暮らせるふくしのまちづくり」を推進するために活用した。

(1) 組織会員の状況

地域福祉推進の中核機能を果たすことができる組織づくりを目的とした組織会員は、事業運営に参画する団体・機関を指し、本会における基本的な構成員である。会員の積極的な加入を促進するとともに、会員を対象とした研修を年1回行った。

①組織会員数 161団体（令和5年3月31日現在）

②組織会員研修

「SDGsについて～私たちにできる取り組みとは～」

貧困や人権、気候変動等、様々な問題の解決にあたり近年、SDGsが注目されている。そこで、多くの企業で講演経験がある講師を招き、SDGsの概要や現状を踏まえたうえで私たちにできることは何か学んだ。

（日 時） 令和5年2月8日（水） 午後2時～4時

（場 所） ラポールひらかた 4階 大研修室

（講 師） 一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク 新田 英理子 氏

（参加者） 35人

(2) 社協会員募集状況

7月を会員募集推進月間として、会員を募集

会 員 種 別	会 員 数	詳 細	
住 民 会 員	17,783人	19,292口	9,646,000円
特別住民会員	4人	4口	80,000円
法人賛助会員	111件	124口	1,240,000円
福祉協力金			5,035,272円
総 計			16,001,272円

(会費の使い道)

校区福祉委員会活動助成（44校区）	7,933,681円
ひらかた社協だより印刷配布費	5,481,870円
ボランティア活動推進費	680,000円
住民会員募集事務経費	911,650円
合 計	15,007,201円

※残金994,071円は次年度に繰越

3. 助成事業

(1) 枚方市福祉団体連絡会の活動支援

①全体会 10回

(単位:人)

日	場 所	内 容	出席数
5/9	ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・第1回会員交流会について(報告) ・令和3年度 事業報告・決算報告について ・令和4年度 事業計画(案)・予算(案)について ・令和4年度総会について ・要望書提出について ・管内研修について ・その他	10
6/1	ラポールひらかた ミーティングルーム	・管内研修について ・要望書について ・交流会について ・その他	9
7/6	ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・福祉団体活動助成金について ・第2回交流会について ・要望書について ・今後の行事予定について ・その他	10
8/10	ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・スポーツ振興課アンケートについて ・ひらかた社協ふくしフェスティバルについて ・第2回管内研修について ・さわやかカフェについて ・要望書について ・その他	9
9/15	ラポールひらかた ミーティングルーム	・要望書について(報告) ・第2回管内研修について ・第2回交流会について ・さわやかカフェについて ・障害者週間について ・パネル作成について ・その他	10
10/17	ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・第2回交流会について ・ひらかた社協ふくしフェスティバルについて ・障害者週間啓発イベントについて ・要望回答会について ・その他	8
11/30	ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・第2回交流会について(報告) ・障害者週間啓発イベントについて ・今後の予定 ・要望回答会について ・その他	9
1/5	ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	・障害者週間啓発イベントについて ・要望回答会について ・管外研修について ・令和5年度総会について ・その他	9

2/8	ラポールひらかた ミーティングルーム	・管外研修について（報告） ・第3回交流会について ・福祉団体連絡会規約変更について ・役員選出方法について ・令和5年度総会について ・その他	9
3/8	ラポールひらかた ミーティングルーム	・第3回交流会について（報告） ・令和5年度第1回交流会について ・さわやかカフェについて ・新役員の選出について ・令和5年度総会について ・その他	9

②総会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
5/18	ラポールひらかた 研修室1	・令和4年度事業報告・決算・監査報告 ・令和5年度事業計画（案）・予算（案） ・新役員選出 ・研修会 テーマ「ルファルひらかた社協」について 講 師 枚方市社会福祉協議会 地域福祉課 松下 友紀 氏	42

③企画委員会の開催（年間 13回 連絡会役員4人）

連絡会の案件調整及び主催事業の企画・検討を行った。

【開催日】4/13、5/2、6/1、6/29、7/19、7/28、8/3、8/23
9/22、10/27、11/15、1/5、2/24、

④認知症カフェ「さわやかカフェ」の開催（年間18回）

【開催日】4/12、4/26、5/10、5/24、6/14、6/28、7/12
7/26、10/11、10/25、11/8
12/13、12/27、1/10、2/14、2/28、3/14、3/28
(他に、コロナ禍のため閉室5回・天候不順の為中止1回)

⑤その他

- ・ 7月20日 市より昨年度要望に対する進捗状況の説明を受けた
- ・ 9月 5日 要望書提出（健康福祉政策課）
- ・ 12月14日 回答説明会

⑥各種事業の開催

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	参加数
4/8	神 戸	第1回 交流会 神戸ポートミュージアム・アトア 神戸港クルージング	30
6/21	ラポールひらかた 福祉団体 共用ルーム	第1回 管内研修（会計研修） 日々の会計処理について 講 師：社会福祉協議会総務課	20
9/30	ラポールひらかた 大研修室	第2回 管内研修（救命救急講習） 枚方・寝屋川消防組合	22
10/22	枚方市 杉	第2回 交流会 芋ほり	29
12/7	ラポールひらかた 大研修室	障害者週間啓発事業 1部 ウクレレ演奏 「ボランティアグループ アロハ・ファジィ」 2部 映画上映 「ぼけますからよろしくお願いします ～おかえりお母さん～」 協力 枚方市民生委員児童委員協議会	119

12/14	ラポールひらかた 大研修室	対市要望回答会	40
1/27	大阪市 阿倍野区	管外研修 阿倍野大阪防災センター	21
3/17	京都亀岡 湯の花温泉	第3回 交流会 ・亀岡ファーマーズマーケット「たわわ朝霧」 ・湯の花温泉 溪山閣 ・京都八つ橋庵とししゅう館	28

⑥その他、参加協力事業

健康・医療・福祉フェスティバル …… 中止（コロナ禍のため）

ひらかた社協ふくしフェスティバル 11/23 …… 全体としてパネル展示
バザー等の参加 3団体

（２）ひとり暮らし老人会連絡会の活動支援

校区福祉委員会や民生委員児童委員協議会の援助のもと、各校区に結成された「ひとり暮らし老人会」の連絡調整を図り、校区福祉委員会や関係機関・団体との連携を密にし、組織の充実・強化を行い、ひとり暮らし高齢者の福祉向上を目的とする活動の支援を行った。

【ひとり暮らし老人会設置状況】

令和 5 年 3 月 31 日現在

当該校区福祉委員会数	設置数	会員総数
44 校区	30 会	925 人

①連絡会の開催状況

（ア）役員会 4/20、5/18、6/15、7/20、8/19、9/16、11/18
12/16、1/20、2/20、3/10 計 11 回

（イ）全体会

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
5/25	ラポールひらかた 研修室 1	・枚方市ひとり暮らし老人会連絡会 役員選出について ・令和 3 年度事業報告及び決算について ・令和 4 年度事業計画（案）及び予算（案）について ・令和 4 年度ブロック管外研修・交流研修について ・令和 4 年度 管内研修について ・『やすらぎ』41 号の発行について ・その他 ① 赤いベレーの今年度の活動について ② 住宅用火災警報器等配布モデル事業について	27
10/20	兵庫県淡路島 （あわじグリーン館）	・令和 4 年度事業実施状況（上半期）について ・管内研修会（スマホ教室）について（報告） ・交流研修会（体操教室）について ・各会の活動について	20
3/10	ラポールひらかた 研修室 2	・交流研修会（体操教室）について ・令和 4 年度事業実施状況（下半期）について ・令和 5 年度運営助成金の申請について ・令和 4 年度管内研修について ・各会の活動について	28

②研修会の開催状況

（ア）会長・役員研修会（管内研修）

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
8/23	ラポールひらかた 大研修室	内 容 「ドコモスマホ教室」 講 師 CHEIN（株）荒木 智之 氏	21

(イ) 会長・役員研修会 (管外研修)

(単位:人)

月日	場 所	内 容	出席数
10/20	淡路夢舞台 (兵庫県淡路島方面)	研修先 淡路夢舞台公苑温室 あわじグリーン館 (兵庫県淡路島)	20

(ウ) 交流研修

(単位:人)

月日	場 所	内 容	出席数
2/10	ラポールひらかた 大研修室	内 容 「健康体操教室」 講 師 JBC フィットネススタジオインストラクター	36

(エ) ブロック別交流・研修会

(単位:人)

月日	場 所	内 容	出席数
11/11	菅原生涯学習 市民センター	【Gブロック (3会)】 ・研修「還付詐欺などに注意」交野警察署 ・アトラクション (歌声喫茶、ビンゴゲーム)	47

※新型コロナウイルスに係る会場使用の自粛要請と感染予防の観点から G ブロック以外中止

③関係機関・団体等との連携事業の状況

(単位:人)

月日	場 所	内 容	出席数
10/4	ラポールひらかた 大研修室	民生委員児童委員協議会 「高齢者福祉部会」との懇談会 (会員対象) ・アトラクション 「南京玉すだれ」 ・コースター作り 各テーブルにて意見交換	60

④小学唱歌を歌う会「赤いベレー」

(ア) 月例開催状況 ・年間 11 回 正会員 259 人 準会員 159 人 賛助会員 148 人
566 人 (延べ人数) 主にラポールひらかた大研修室で活動

(イ) 主催行事 ・友愛訪問 特別養護老人ホーム「里仁館」

※新型コロナウイルスに係る会場使用の自粛要請と感染予防の観点から中止

⑤その他

- ・枚方寝屋川消防組合の推薦を受け、一般社団法人全国消防機器協会が実施する住警器等配布モデル事業に応募し、2 会が火災報知器及び防災グッズの寄贈を受けた。
- ・関西医大看護学部の依頼により、3 会で 2 年生の実習を受け入れた。

4. 共同募金配分金事業

(1) 赤い羽根共同募金 (令和 4 年 10 月 1 日～令和 4 年 12 月 31 日)

自治会を窓口とした戸別募金、市内施設・病院等での募金箱の設置、法人募金・職域募金、学校募金等のほか、ボランティアグループ連絡会の協力を得て、京阪枚方市駅周辺で街頭募金を実施した。また、ひらかた社協ふくしフェスティバルでは啓発活動を行った。

募金総額 7,564,538 円

[共同募金の配分]

大阪府共同募金会からの配分金(令和 3 年度募金分) 2,602,584 円

枚方市内のボランティア活動などに対し助成を行った。

(2) 地域歳末たすけあい募金の実施(令和 4 年 12 月 1 日～令和 4 年 12 月 31 日)

枚方地区募金会と社会福祉協議会との共催で実施。自治会や福祉施設・市内事業所の協力を得て募金活動を実施した。

募金総額 9,378,759 円

[地域歳末たすけあい募金の配分]

大阪府共同募金会からの配分金(令和 3 年度募金分) 9,412,512 円

(配分内訳)

(単位：円)

地域福祉活動支援助成	3,067,600
ひとり暮らし老人会運営助成	1,501,475
福祉団体等活動助成	354,109
小規模災害（火災）助成	75,000
生活困窮者緊急支援助成	13,173
ボランティアグループ活動助成	747,000
権利擁護と成年後見に関する事業助成	1,000,000
障害者ウォークラリー事業助成	50,202
居場所づくり支援助成	700,000
福祉理解啓発助成	4,506,537
合 計	12,015,096

※「共同募金の配分」「歳末たすけ合い募金の配分」含む

5. コミュニティソーシャルワーカー配置（多機関協働等）事業

令和4年度からは、重層的支援体制整備事業として事業強化に取り組んだ。

まず、アウトリーチ事業として、市内全域にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、身近な地域の福祉相談員として、「どこに相談したらいいかわからない」などの福祉に関する困りごとを抱えた住民への個別支援と、個別の福祉課題を地域の課題として捉える「福祉のまちづくり」の推進に取り組んだ。特に、CSWの強みであるアウトリーチを強化し、伴走型支援としての訪問相談や地域活動での出張相談会の充実に力を入れた。コロナ禍での地域活動が徐々に再開する中で、アウトリーチでは個別相談の対応だけではなく、民生委員児童委員協議会の地区委員会、校区福祉委員会が開催するサロン活動、第2層協議体の「元気づくり・地域づくり会議」にも参加し、活動者からの相談に応じるなど地域支援を行った。

地域づくり事業としては、長年にわたり地域福祉の中心として本会と共に各種地域福祉活動に取り組んでいる校区福祉委員会の活動支援を行った。

多機関協働事業としては、行政の各相談機関と連携し、効果的な支援体制を構築するとともに「属性を問わない相談支援等」きめ細やかな支援体制に取り組んだ。

参加支援・居場所づくりとしては、「ルファルひらかた社協」1階の地域交流スペースを活用し、ひきこもりの方の社会参加を支援するための「クラカフェ」やスマホなどのICTツールの相談ができる「スマカフェ」を実施した。

（1）アウトリーチ事業

①要援護者に対する相談・セーフティネット体制

要援護者の生活・心身の状況及び家族等の実態を把握し、地域団体・専門機関とともに、見守りやサービス等の調整、複合する課題を抱えた人や公的サービスだけでは対応できない人への支援体制づくりに向けて取り組んだ。

（ア）年間相談者数 947人

（イ）年間相談件数（重層的支援体制整備事業対応ケース含む）

（単位：件）

【相談対象者別】	新規相談件数	継続相談件数 (新規含む)
高齢者	255	920
（うち）1人暮らし高齢者	128	455
（うち）高齢者のみの世帯	82	233
（うち）上記以外の高齢者	45	232
障害者	135	1008
（うち）身体障害者	29	194
（うち）知的障害者	21	130

(うち)精神障害者	85	684
子育て中の親子	37	117
ひとり親家庭の親子	35	144
青少年(39歳以下)	49	215
DV被害者	5	14
ホームレス	0	1
外国人(中国帰国者を含む)	0	1
中高年、40歳以上	163	1052
地域活動者・住民	251	483
その他(上記以外)	54	86
合 計	984	4041

【相談内容別】 ※重複該当を含む	新規相談件数	継続相談件数 (新規含む)
福祉制度・サービスに関する相談	193	985
生活に関する身近な相談	300	1678
病気や健康・障害・医療に関する相談	115	668
収入・生活費に関する相談	191	866
仕事探し・就労に関する相談	26	147
財産管理・権利擁護に関する相談	33	112
消費者被害に関する相談	1	6
債務に関する相談	7	63
DV・虐待に関する相談	19	60
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	279	532
住まいに関する相談	43	305
子育て・子どもの教育に関する相談	35	142
近隣、地域との関係について	41	148
ひきこもり・不登校について	42	151
人権・差別について	2	4
家族との関係について	13	46
食べるものがない	9	49
介護のことについて	6	20
仕事上の不安やトラブルについて	0	0
家賃やローンの支払いについて	2	6
その他(上記以外)	63	180
合 計	1420	6168

(ウ) ケース検討会等の随時開催

(エ) 身近な所で相談できる出張相談会(市内22か所)の開催

〔定例相談会〕校区福祉委員会等が開催するサロンや拠点施設で定例の相談コーナーを開設。
中部5か所/北部6か所/南部7か所/東部3か所/市内全域1か所

②CSW事業の推進体制

関係機関・団体等の会議に参加、連携を図り、事業推進のための体制づくりを行った。

(ア) CSW配置事業定例会(枚方市・枚方市社会福祉協議会)の開催(12回)

(イ) CSW事例検討会の開催(6回(うち1回はSSWと協働で開催))

(ウ) 社会福祉施設地域貢献連絡会との連携

(エ) 元気づくり・地域づくり会議、多職種連携会議・研修会への参加

(オ) 介護予防日常生活支援総合事業への参加・参画

- (カ) 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議への参加
- (キ) 枚方市自立相談支援センター支援調整会議への参加
- (ク) ファミリーポートひらかた地域連絡会への参加
- (ケ) 府・市関係各課及び地域の関係機関・団体等との連携

③広報・啓発活動

- (ア) 社協だよりによりPR記事掲載（6、3月）
- (イ) 各校区福祉委員会発行の広報紙にCSWの啓発記事を掲載
- (ウ) 啓発資材の作成と配布

活動事例集	1, 000部
啓発チラシ	5, 000枚
ティッシュ	4, 000個

(2) 多機関協働事業

①重層的支援体制整備事業

- ・定例会議の開催（年12回）
- ・啓発活動

重層的支援体制整備事業の取り組み状況やCSWの役割等の事業紹介を行った。

月日	場所	内 容
10/31	ラポールひらかた 大研修室	大阪府主催 令和4年度包括的支援体制構築推進事業 河北ブロック勉強会 「連携をキーワードに ～個別ケースからそれぞれの機関の役割を 理解するとともに、住みよい地域づくりを 考える研修～」
2/9	四条畷市社会福祉協議会	北河内社会福祉協議会会長・局長会 「枚方市がすすめる重層的支援体制整備事業」
2/13	枚方市総合文化芸術 センター 小ホール	NPO法人ふうせんの会主催 ふうせんの会シンポジウム 「ヤングケアラーが「いきる」社会をつくる」
2/14	寝屋川市役所	北河内CSW連絡協議会 「CSWから見た重層的支援体制整備事業」

(3) 参加支援事業（居場所づくり）

ルファルひらかた社協を活用し、ひきこもりの方などの社会参加を支援するためのクラフトカフェを開催。カフェに来所が難しい方でも社会とのつながりを感じられるように、自作の作品展示を行った。また、スマホなどのICTツールについての相談が気軽にできるカフェを開催し、スマホの購入を考えている方もスマホなどに触れてもらうことができるような機会として開催した。

①クラフトカフェの実施

開催回数 30回 延べ参加者 237名

②スマホカフェの実施

開催回数 4回 延べ参加者 24名

③ルファルひらかた社協クリスマス会の開催

日時：令和4年12月22日（木）13時～16時

内容：地域活動センターゆい、地域包括支援センター社協ふれあいと協働で開催

蒸しパンやカップホルダーづくり、地域のコーラスの方を招いてのライブを開催した。

(4) 地域づくり事業（校区福祉委員会協議会）

高齢者・障害（児）者・子育て中の親子などが地域で安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支えあい活動を小地域で行う体制を構築することを目的とし、校区福祉委員会を中心に展開した。加えて、活動を支える担い手の養成や研修、相互交流等の機会を設けた。

①役員会開催状況

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
4/25	ラポールひらかた 集会室	・事務局体制について ・令和4年度住民会員募集について ・令和3年度校区福祉委員会協議会事業報告について ・令和3年度校区福祉委員会協議会関係決算報告について ・各種委員会委員の推薦について ・第6次枚方市地域福祉活動計画について ・校区ふくしのまちづくり計画について ・いきいき・わくわくプログラムについて	5
6/29	ラポールひらかた 特別会議室1	・コミュニティソーシャルワーカーについて ・ひらかたこども福祉新聞について ・各種委員会委員の推薦について ・校区福祉委員会協議会年間予定について ・校区ふくしのまちづくり計画について ・大阪府福祉基金地域福祉活動助成事業について	8
9/9	ラポールひらかた 研修室1	・赤い羽根共同募金について ・歳末たすけ合い運動について ・社協住民会員募集について ・ひらかたこども福祉新聞について ・社協ニコニコ新聞について	7
11/28	ラポールひらかた 特別会議室	・社協住民会員募集について ・歳末たすけあい運動について ・社会福祉審議会委員の推薦について ・いきいき・わくわくプログラム実習報告会について ・ひらかたこども福祉新聞について	8
12/14	ラポールひらかた 研修室1	・社協評議員の選任について	7
3/7	ラポールひらかた 特別会議室	・いきいき・わくわくプログラム（関西医科大学実習生受入れ）について ・社協住民会員募集について ・令和4年度歳末たすけあい運動について ・令和5年度校区福祉委員会協議会事業計画（案）について ・令和5年度校区福祉委員会協議会関係予算（案）について ・校区福祉委員会活動に関する書類の提出について ・ひとり暮らし老人会運営助成金に関する書類の提出について ・校区献血について ・校区福祉委員会活動に関する書類の提出について ・ひらかたこども福祉新聞について ・各種委員の推薦について	6

②代表者会議開催状況

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
5/20	ラポールひらかた大研修室	・事務局体制について ・令和4年度住民会員募集について ・令和3年度校区福祉委員会協議会事業報告について ・令和3年度校区福祉委員会協議会関係決算報告について ・第4次校区ふくしのまちづくり計画について ・いきいき・わくわくプログラム（関西医科大学実習生受入れ）について	42
12/14	ラポールひらかた大研修室	・社協住民会員募集について ・令和4年度歳末たすけあい運動について ・令和4年度共同募金配分金事業 事業計画案について ・令和4年度枚方市「はたちのつどい」について ・献血ルーム啓発ポスターについて ・ひらかたこども福祉新聞について ・ルファルひらかた社協について ・いきいき・わくわくプログラム（関西医科大学実習生受入れ）について	40
3/22	ラポールひらかた研修室1	・いきいき・わくわくプログラム（関西医科大学実習生受入れ）について ・社協住民会員募集について ・令和4年度歳末たすけあい運動について ・令和5年度校区福祉委員会協議会事業計画（案）について ・令和5年度校区福祉委員会協議会予算（案）について ・校区福祉委員会活動に関する書類の提出について ・ひとり暮らし老人会運営助成金に関する書類の提出について ・校区献血について	41

③各エリア会議開催状況

(ア) 北エリア会議

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
10/9	ラポールひらかた大研修室	・コロナ禍における各校区の福祉活動について ・他市での取り組み紹介 ・意見交換	19
3/22	ラポールひらかた研修室1	・令和5年度 北エリア事業計画について ・情報交換	10

(イ) 中エリア会議

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
8/25	ラポールひらかた大研修室	・コロナ禍における各校区の福祉活動について ・研修会 テーマ「室内でできる運動について学ぼう」 講師 枚方市スポーツ協会 倉田 智栄子 氏	19
12/15	奈良県営福祉パーク	【管外研修】 奈良県営福祉パークの視察研修	16
3/22	ラポールひらかた研修室1	・令和5年度中エリア事業計画について ・情報交換	11

(ウ) 南エリア会議

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
8/1	ラポールひらかた 研修室 1	・コロナ禍における各校区の福祉活動について ・他市の活動紹介 ・意見交換	3 7
3/22	ラポールひらかた 研修室 1	・令和 5 年度南エリア事業計画について ・情報交換	1 2

(エ) 東エリア会議

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
10/9	京都ライフサポ ート協会他	【管外研修】 多機能事業所工房「あんじゅ」・レストラン庵樹の視察研 修及びエリア会議を開催	1 9
3/22	ラポールひらかた 研修室 1	・令和 5 年度東エリア事業計画について ・情報交換	9

(5) 研修会開催状況

①校区福祉委員会会長、活動者研修会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
3/7	ラポールひらかた 大研修室	【講演会】 テーマ「視覚障害者の地域生活について」 講師 枚方市視覚障害者の会 代表 佐藤 公昭 氏	6 3

②校区福祉委員会会計担当者研修会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
7/20	ラポールひらかた 大研修室	・校区福祉委員会の活動と財源について ・校区福祉委員会会計の処理について	5 6

③校区ふくしのまちづくり策定懇談会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
9/15	ラポールひらかた 研修室 1	・校区ふくしのまちづくり計画策定の目的について ・計画策定の進め方について	2 2

④いきいきサロン健康づくりサポーター養成講座

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
12/19 12/21	ラポールひらかた 大研修室	・「ひらかた夢かなえるエクササイズ」の体験 ・食事のお話 講師：枚方市 健康づくり・介護予防課 理学療法士、作業療法士、管理栄養士	4 6

⑤小地域ネットワーク活動リーダー研修会（大阪府社会福祉協議会主催）

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
2/15 ～ 3/31	録画配信	【基調講演】 テーマ「多機関協働とのメリットとは」 講師 同志社大学 社会学部 教授 野村 裕美 氏 【実践報告】 高石市、河内長野市、佐野市、熊取町より実践活動の取組 み報告	3 3

(6) 小地域ネットワーク活動推進事業（校区福祉委員会活動支援）

①各校区の地域福祉活動の推進

市内全 4 4 校区福祉委員会が、新型コロナウイルス感染拡大防止の配慮を行った上、可能な範囲で各校区の地域特性に応じ、住民主体で取り組む校区福祉委員会活動の支援を行った。

- (ア) 個別援助活動
 - ・地域で支援を必要とする人に対する見守り・声かけ訪問
 - ・外出することが困難な人へ食事を提供するとともに、安否確認などを行う配食活動
 - ・外出自粛高齢者・障害者等見守り支援事業として、「あんしんコール」・「ふれあいポスティング」の実施
- (イ) グループ援助活動
 - ・高齢者等を対象に、住民の憩いの場づくりとしてのいきいきサロン活動
 - ・子育て中の親子が集まり、親同士の交流等を行う子育てサロン活動
 - ・住民全般を対象とした世代間交流活動
 - ・高齢者や障害者、性別、年齢などに関係なく地域の誰もが集える共生型サロン活動
- (ウ) 校区福祉委員会等活動
 - ・福祉講座やボランティアスクール等、地域住民に対する福祉啓発活動
 - ・担い手の養成等を目的とした各種研修会の開催

(7) 関西医科大学との連携

関西医科大学看護学部看護学科からの実習協力要請に応え、今年度も「生活看護論実習Ⅰ及びⅣ」の履修者を対象に、各校区福祉委員会の協力を得て、地域での実習受け入れを行った。

【受け入れ人数】1年生延べ257人、4年生延べ367人

【受け入れ期間】6月～12月

(8) その他の活動

- ・社協住民会員募集への協力（7月）
- ・歳末たすけあい運動への協力（12月）

6. ボランティア活動推進事業

市民が身近にボランティア活動に参加しやすい環境を整えるため、ボランティア体験プログラムや各種講座、イベント等を実施した。

登録ボランティアやグループの主な活動先である福祉施設は、コロナの影響により活動できない状況だったが、徐々に活動が再開されるとともに、センターとしても活動が継続できるよう支援した。また、登録ボランティアを対象とした研修会を開催した。

(1) 枚方市ボランティアセンター事業

① ボランティアセンター開所状況

(単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数	20	19	22	20	22	20	20	20	20	20	18	22	243

② ボランティアセンター利用状況

(延べ件数)

(延べ件数)

利用者(個人・団体)	件数
現任ボランティア・グループ	801
学 生	31
一般市民(主婦・シニア等)	449
地 域 (福祉委員会・民生委員・自治会等)	194
学校・教育関係	21
福祉施設・医療関係	56
行政・他市社協	149
その他団体	153
計	1,854

利用方法	件数
来 所	1,294
電 話	560
計	1,854

③利用内容

(延べ件数)

内 容	件 数
ボランティア活動相談	2 3 2
ボランティア依頼相談	1 4 5
各種情報提供	9 2 4
ボランティア保険受付	2 6 7
サロン・講座・交流	2 8 6
計	1, 8 5 4

④ボランティア／ボランティアグループ登録状況

(年度更新制)

個人ボランティア	781 人	新規登録者数	31 人
登録ボランティアグループ	83 団体	新規登録グループ数	2 団体

⑤枚方市ボランティアセンター運営委員会開催状況

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
7/22	ラポールひらかた 研修室 1	・令和 3 年度ボランティアセンター事業報告 ・令和 4 年度ボランティアセンター事業計画 ・意見交換等	1 3
3/15	ラポールひらかた 研修室 1	・令和 4 年度ボランティアセンター事業報告 ・令和 5 年度ボランティアセンター事業計画 (案) ・意見交換等	1 4

⑥ボランティアグループ連絡会の活動状況

現在、市内 2 1 団体で構成し、各団体が情報交換・連携を図りながら活動を展開。また、「大阪府市町村ボランティア連絡会」の総会や研修交流会等にも参加した。

(ア) 枚方市ボランティアグループ連絡会

連絡会の開催 (4/1・6/1・8/1・10/3・12/1・2/1)

役員会の開催 (4/15・5/27・7/29・9/26・11/7・1/13・2/27)

総会の開催 (4/1)

機関紙づくり講習会 (8/18)

ドコモスマホ教室 Google マップ基本編の開催・チラシづくり研修会 (2/13)

赤い羽根共同募金 (10/3・4)

ひらかた社協ふくしフェスティバル パラスポーツ体験 (11/23)

(イ) ボランティア交流会の開催状況

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
6/17	ラポールひらかた 大研修室	①講演会「ボランティアを楽しむコツ！」 講師 自然体験指導者 Join ネーチャースクール 代表 山口 遼太 氏 ②交流会 (グループワーク)	2 6

(ウ) 大阪府市町村ボランティア連絡会への参加

総会に出席 (5/30)

テーマ別研修会に参加 (12/20)

代表者会議に出席 (2/3)

⑦ボランティア関係機関との連携

(ア) 大阪府社協担当者会議 (8/4)

(イ) 他市社会福祉協議会との情報交換や交流

・河北ブロックボランティア交流会 開催地：大東市 (9/6)

・河北ブロックボランティア担当者会議 開催地：寝屋川市 (12/15)

⑧情報提供、啓発活動の状況

(ア) 冊子等の発行

- ・ボランティアセンターのパンフレット配布
- ・ボランティアグループ一覧表の配布

(イ) 情報媒体への提供・協力

- ・社協だより、広報ひらかた
- ・市社協及び府社協等関係機関のホームページ等

(ウ) 各種機器、機材の貸与事業

- ・白杖・アイマスク 8 件
- ・車椅子 19 件
- ・高齢者疑似体験 6 件

⑨ボランティアセンターホームページの運営

ボランティア情報の更新、助成金関連の情報掲載、ボランティアの募集依頼の掲載等行った。

(2) ボランティア・市民活動者・育成支援

①ボランティア・市民活動講座

- ・ 7 月 30 日 (土) さだ生涯学習市民センター ボランティア入門講座・高齢者疑似体験
- ・ 8 月 4 日 (木) 布のおもちゃ手作り講習会
- ・ 8 月 8 日 (月) 牛乳パック水陸両用車づくり
- ・ 11 月 29 日 (火) ボランティア講座 チームオレンジサポーター情報交流会
- ・ 令和 5 年 2 月 7 日 (火) ・ 14 日 (火) ・ 21 日 (火) ・ 28 日 (火) (全 4 回)
傾聴ボランティア養成講座
- ・ 令和 5 年 1 月 23 日 (月) 第 6 回健康講座

②小中学生及び地域住民への福祉体験講座を実施

市内小学校や中学校などで福祉体験講座を実施

車いす体験講習は 7 校、アイマスク・白杖体験は 14 校、高齢者疑似体験は 1 校にて実施

③2022 ちょいボラ体験

期間：令和 4 年 4 月 18 日～令和 5 年 3 月 17 日

参加団体：13 団体 参加者：延べ 15 人

(3) 災害時の支援体制づくり

災害ボランティアセンターの設置・運営訓練の実施や、災害時支援ボランティアの養成ではリモートや ICT ツール (Google フォーム) を積極的に取り入れ、災害時に活かせる支援体制づくりを行った。

また、コロナ禍で中止となっていたよどがわ防災まつりを開催し、市民の防災意識の向上及び平時からの関係機関同士の連携強化に努めた。

①災害時要援護者支援ボランティアの募集

令和 5 年 3 月 27 日 (月) 開催 講演会「災害ボランティア活動について」

②災害時要援護者避難支援事業の実施

枚方市の委託を受け、校区コミュニティ協議会や民生委員児童委員協議会の協力による、災害発生時に自力で指定避難場所まで避難することが困難な高齢者や障害者を対象とした登録受付、登録者リストの作成を行い、支援体制づくりをすすめた。

〈要援護者登録状況〉923 人 (男性 234 人 女性 689 人)

65 歳以上の高齢者 830 人、障害者 93 人 (令和 5 年 3 月末現在)

③よどがわ防災まつり開催

コロナ禍で中止となっていたが、市民に防災意識向上や平時からさまざまな機関同士がつながり、いざという災害時に連携するために、行政や企業、NPO 法人、学校などが集まり、防災イベントを開催した。感染症対策を講じ、レトルトのぜんざいの配布や防災クイズ巨大迷路、防災グッズの展示、ワークショップなどのブースを企画した。

日時 令和 5 年 2 月 25 日 (土) 10 時～15 時

場所 ラポールひらかた

参加団体 15 団体

来場者 500 人

④災害ボランティア現任研修（よどがわ防災まつりと同時開催）

テーマ「-逃げるを諦めないその先へ- 技術で災害に向き合う」

日時 令和5年2月25日(土) 10時30分～11時10分

講師 Drone AI 技術研究機構

会場 ラポールひらかた 研修室2

参加者 25人（よどがわ防災まつりの来場者含む）

⑤災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーションの実施

例年行っている災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーションではコロナ禍を想定し、災害ボランティアの登録やニーズの受付に ICT ツール（Google フォーム）を活用し、スムーズな運営に取り組んだ。また、感染症対策も行い、受付からコーディネート、活動、報告までの流れを体験した。

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
12/20	ラポールひらかた 大研修室	【テーマ】 コロナ禍での大規模災害（地震）を想定 ・災害ボランティアセンター運営訓練	80

7. 献血推進事業

少子高齢社会が進行するなか、血液製剤の国内自給を目指して献血人口の拡大と400ml献血の献血者を安定的に確保するべく事業を実施している。しかし、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大により十分な活動を行うことが困難となったが、可能な範囲で活動を実施した。また、枚方市駅献血ルームの啓発活動として、関係機関・団体等の協力により市内全域にポスターを掲示し献血推進に努めた。

（1）事業内容

①献血推進協議会開催状況

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
6/20	ラポールひらかた 研修室1	・令和3年度枚方市献血推進協議会事業報告及び令和4年度事業計画について ・令和3年度枚方市駅献血ルーム献血実績及び令和4年度事業計画について ・令和4年度夏期献血街頭キャンペーン実施計画について	16
10/4	ラポールひらかた 研修室1	・令和4年度夏期献血街頭キャンペーン結果報告について ・令和4年度冬期献血街頭キャンペーン実施計画について ・枚方市献血推進協議会上半期献血実績について ・枚方市駅献血ルーム上半期献血実績について ・血液センター北大阪事業所上半期献血実績について	17

②研修会開催

6月20日 テーマ：「血液事業の現状について」

講 師：大阪府赤十字血液センター北大阪事業所

事業課長 川口 広志 氏

参加者：献血推進協議会委員16人

③街頭キャンペーン実施状況

京阪枚方市駅前献血ルーム周辺で、献血推進協議会委員が、ティッシュペーパーを配布しながら献血協力を呼びかけるなどの啓発を行った。

（単位：人）

	実 施 日	場 所	啓発参加者数	受付者数	採血者数
夏期	7月4日	京阪枚方市駅献血ルーム前	14	45	43
冬期	12月6日	京阪枚方市駅献血ルーム前	13	53	50

【実施時間】

夏期：午前10時～10時30分 午前10時30分～11時00分

冬期：午前10時～10時30分 午前10時30分～11時00分

④校区福祉委員会との連携

校区福祉委員会と連携し、16校区において献血を実施した。広報活動として、PR用チラシの配布（全戸配布用・回覧用）とポスターの掲示を行った。

枚方市駅献血ルームの冬期啓発ポスター掲示の協力を呼びかけ、献血推進の啓発を行った。

⑤関係機関・団体等との連携

関係機関・団体等との連絡調整を図り、組織的・効果的な献血推進活動を行った。

(2) 枚方市献血実績（単位：人）

実施区分 (域)	受付者数	採血者数	採血者内訳			主催団体 実施場所等
			200ml	400ml	成分	
街 頭	2,430	2,113	69	2,044	0	樟葉駅前
		87.0%	3.3%	96.7%	0.0%	
学 域	981	746	219	527	0	大学・専門学校等
		76.0%	29.4%	70.6%	0.0%	
職 域	1,325	1,162	63	1,099	0	事業所・病院 市役所等
		87.7%	5.4%	94.6%	0.0%	
地 域	686	574	43	531	0	校区福祉委員会
		83.7%	7.5%	92.5%	0.0%	
献血者計 (小計)	5,422	4,595	394	4,201	0	街頭～地域 の合計
		84.7%	8.6%	91.4%	0.0%	

献血ルーム	16,443	15,241	160	6,155	8,926	枚方市駅献血ルーム
		92.7%	1.0%	40.4%	58.6%	
総 合 計	21,865	19,836	554	10,356	8,926	採血車・献血ルーム の合計
		90.7%	2.8%	52.2%	45.0%	

(採血者数下の％は、受付者数に対する割合。採血者内訳下の％は、採血者数に対する構成比。)

8. 福祉サービス利用援助事業

利用者及び利用希望者（関係機関を含む）からの金銭管理に関する相談に対応し、必要に応じて「ひらかた権利擁護成年後見センター」と連携をとりながら相談対応を行った。相談者の状況により適切な成年後見制度への移行を進めた。

(1) 事業概要

①目的

認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人に対し、自立した地域生活を送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などを行うことにより、権利擁護に資することを目的とする。

②実施事業

- (ア) 福祉サービスの利用援助（情報提供、相談、代行・代理等）
- (イ) 日常的な金銭管理（日常管理通帳・印鑑の管理、公共料金等の支払い代行等）
- (ウ) 書類等の預かり（印鑑、各種証書等を貸金庫に保管）
- (エ) 監査委員会の運営（年2回開催）
- (オ) 関係機関との連携

③職員体制

専門員2人

生活支援員（サポーター）8人（うち5人は週5日 7時間45分、3人は4日 5時間）

(2) 実績

① サービス提供状況（契約件数 139 件）（単位：件）

	実利用者数	内貸金庫利用者	内訳	
			新規	解約
認知症高齢者	36	6	4	12
知的障害者	48	24	4	1
精神障害者	55	17	7	3
計	139	47	15	16

※解約理由：死亡 9 件/成年後見 5 件/本人希望 1 件/施設入所 1 件/

② 専門員稼働状況（単位：件）

専門員	問い合わせ	初回相談	訪問
	23	57	77

※訪問（初期訪問、ガイドライン調査、相談援助訪問等）

（単位：件）

生活支援員	訪問			手続代行等
	金銭授受	身上監護	計	
	2,620	209	2,829	

③ 調査活動

関係機関の支援者を対象に「金銭管理に関する支援状況及び関係機関との連携についてのアンケート調査」を実施し、492 人の有効回答を得た。調査報告書を発行し、関係機関や大阪府社会福祉協議会、運営適正化委員会に報告した。（調査は大阪府社会福祉協議会の助成金を活用して実施した。）

9. 精神保健福祉推進事業

心に悩みのある人への電話相談や当事者組織等の支援、自殺予防・防止に向けた市民啓発の推進と各種情報提供を行った。

(1) 精神保健福祉推進事業

① セルフヘルプグループの活動支援

精神障害者クラブ「ひらりの会」、心に病をもつ者の家族の会「わかちあう会」、自死遺族わかちあいのつどい「ふきのとうの会」、「枚方断酒会」の活動の支援を行った。

② こころの電話相談の支援

実施日時：毎日（1 月 1 日・2 日を除く）午前 10 時～午後 4 時

相談員：研修を経た相談員 55 人 交代制

実施日数：363 日

相談件数：3,629 件（内訳：男性 1,353 人・女性 2,276 人）

(2) 枚方市自殺予防対策事業

自殺予防に係る専用相談電話の設置や自殺予防の役割を担う人材の養成、市民への情報提供と啓発を推進することにより、自殺を思い悩む人への支援体制の充実を図った。

① 電話相談支援事業（ひらかた いのちのホットライン）

自殺予防に係る専門の研修を修了した者が、専用の電話相談「ひらかた いのちのホットライン」において、不安や悩みを抱え自殺を思い悩む相談者の思いを傾聴し、受け止めることにより、その苦悩を軽減することを目的に電話相談を行った。

・実施日時 毎週月・水・金曜日 午後 1 時～午後 8 時（1 月 1 日、2 日を除く）

・相談従事者 枚方市が実施する相談従事者育成のための研修を修了した者

・実施日数 154 日・相談件数 1,184 件

② 人材養成事業

電話相談支援事業に従事する相談員の養成および、自殺を考えている人のサインに気づき、見守りを行い、専門相談機関による相談へとつなげる役割を担うゲートキーパーを養成するための研修を実施。

(ア) フォローアップ研修

電話相談員のスキルアップを図り、相談事業の充実を目的に傾聴の研修を行った。

- ・ケース・スタディ研修 38回 297人
- ・リーダー研修 10回 50人
- ・特別研修 2回 50人

(イ) ゲートキーパー養成研修

自殺のサインに気づき、見守りや必要に応じて適切な専門相談機関へつなぐ役割を担う人材を養成することを目的に、今年度は地域住民の身近な相談相手である民生委員・児童委員を対象に「ゲートキーパー養成研修」を開催した。

「令和4年度 ゲートキーパー養成研修」

日 時 令和5年1月30日(月) 13時30分～15時30分

場 所 ラポールひらかた 4階 大研修室

講 師 NPO法人ゲートキーパー支援センター

対 象 民生委員・児童委員、主任児童委員

参 加 者 79人

③普及啓発事業

9月の自殺予防対策週間や3月の自殺対策強化月間において、デジタルサイネージを活用した啓発キャンペーンを実施した。また市民に対する自殺予防についての啓発を行うとともに、改めて「命」について考えていただくことを目的に普及啓発講演会を開催した。

(ア) 「令和4年度 デジタルサイネージ」

1回目 日 時 令和4年9月5日(月)～9月18日(日)

場 所 京阪電車 枚方市駅構内

2回目 日 時 令和5年2月27日(月)～3月26日(日)

場 所 京阪電車 枚方市駅構内

(イ) 「令和4年度 普及啓発講演会」

日 時 令和5年3月13日(月) 13時30分～15時00分

場 所 ラポールひらかた 4階 大研修室

テーマ 「救急現場が教えてくれた命の輝き ～心を支える人のつながり～」

講 師 こころの元気講演家 石川 達之 氏

対 象 一般市民

参加者 54人

10. 生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉および社会参加の促進を図ることを目的として、生活福祉資金貸付事業を実施した。

令和4年9月末で新型コロナウイルス感染症特例貸付の受付期間が終了したが、その後も低所得者や償還困難者からの相談は増加しており、大阪府社会福祉協議会や枚方市自立相談支援センターと連携しフォローアップ支援を行った。

(1) 総合支援資金

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	2	1	1	1	1	1	1	4	5	5	0	0	22
窓口相談	1	0	0	0	0	0	2	3	2	2	0	2	12
貸付申請	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

(2) 福祉資金

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	17	41	40	81	42	72	31	16	23	28	5	0	396
窓口相談	5	14	24	31	15	22	27	23	10	1	3	8	183
貸付申請	1	3	2	7	2	3	3	2	1	0	1	0	25

(3) 緊急小口資金

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	17	4	1	0	1	4	2	8	16	35	62	59	209
窓口相談	4	0	0	0	0	0	6	5	10	16	26	21	88
貸付申請	2	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	3	9

(4) 教育支援資金

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	37	18	6	11	20	35	18	18	30	21	79	92	385
窓口相談	18	9	0	2	8	8	14	21	38	46	76	64	304
貸付申請	4	2	0	0	0	1	3	3	8	3	18	9	51

(5) 不動産担保型生活資金（要保護世帯向け不動産担保型生活資金を含む）

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	2	6	2	0	3	3	1	1	1	1	0	0	20
窓口相談	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
貸付申請	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2

(6) 新型コロナウイルス感染症 特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電話相談	209	285	322	199	212	386	45	25	69	102	53	79	1,986
窓口相談	97	145	178	100	176	275	28	24	24	35	24	47	1,153
小口申請	51	87	52	50	71	56							367
総合申請	53	68	75	37	58	106							397
猶予申請									10	24	12	24	70
少額返済									0	0	0	0	0

※令和4年9月末 コロナ特例貸付の受付期間終了

※令和4年12月 償還猶予ならびに少額返済の申請受付開始

1 1. 乳児家庭全戸訪問事業

市内に在住する生後4カ月までの乳児のいる家庭を対象に、有資格者または子育て支援活動の経験がある訪問員が全戸訪問し、子育てについての不安や悩みを聴き、子育て支援に関する情報提供等を行う。同時に、親子の心身の状況や養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供につなげるなど、乳児の健全な育成環境の確保を図ることを目的に、乳児家庭全戸訪問事業を実施した。

(1) 訪問件数

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
出生者数	220	160	176	209	187	195	229	205	241	218	178	194	2,412
訪問家庭数	165	140	131	161	143	151	178	156	193	178	140	137	1,873

* 訪問家庭数は、新生児家庭訪問の実施世帯等を除いたものとなっています。

(2) 訪問員

- ・訪問員数
- ・訪問員の要件

51人（令和5年3月31日現在）

①保育士等の有資格者 ②子育て支援活動の経験のある者

①または②の条件を満たした上で、確実にケースを担当できる者および年3回の研修に出席することができる者

(3) 訪問員研修会の開催状況

事業の目的を理解し、訪問員としての基礎的な知識の習得と資質の向上を図ることを目的に訪問員研修を実施した。
(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
6/6	ラポールひらかた 大研修室	1部 グループワーク 「訪問員になった動機を振り返って」 講師 金澤 栄子 氏 2部 関係機関からの情報提供	4 2
9/2	ラポールひらかた 大研修室	1部 「ファミリーポート・ファミリーサポートセンターの機能と役割」 講師 大阪水上隣保館 職員 枚方市ファミリーサポートセンター 職員 2部 グループワーク「訪問後の気になるケースの報告について」	3 8
12/1	ラポールひらかた 大研修室	「母子保健課における妊娠期・乳児期の支援について」 講師 枚方市保健センター 保健師	4 4

(4) 運営会議・ケース会議の開催

本事業に関わる関係各課（子育て支援室・子ども総合相談センター・保健センター）が参画し、事業に関する連絡調整及びケース対応検討を目的に毎月開催。

開催日： 4/14, 5/25, 6/23, 7/12, 8/17, 9/20, 10/19, 11/16, 12/19, 1/18, 2/20, 3/15

(5) 相談員の設置

相談員として保育士資格者1人配置し、訪問時に作成する訪問個表の提出期間中等に、訪問員に助言や指導を行った。

12. 13. 地域包括支援センター事業（第1圏域・第2圏域）

本会は、市内の地域包括支援センター13か所の内、第1圏域（社協こもれび）と第2圏域（社協ふれあい）を担当し、介護予防・日常生活支援総合事業、介護予防支援事業に取り組んだ。

介護予防・日常生活支援総合事業の一環としての元気づくり・地域づくりプロジェクトは、第1・2圏域5校区のうち、4校区で取り組まれている。

社協こもれびでは、圏域の高齢者の居場所をはじめ、地域活動の社会資源を冊子にまとめ、情報提供ツールとして活用し、介護保険事業所やクリニックなどに配布した。

社協ふれあいでは、認知症サポーターステップアップ講座修了者を圏域のオレンジカフェの活動につなげる事が出来た。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大予防に努めながらも、地域包括ケアシステム構築のため、医療・保健・福祉の各専門職が顔をそろえる「多職種連携研究会」を開催し、また、リモートを活用して介護事業所との懇談会等を行い、関係機関とのさらなる連携強化に取り組んだ。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業として、国保データベース（KDB）システム等を活用し、地域の健康課題の整理・分析を行い、健康教育・健康相談（ポピュレーションアプローチ）の実施や、健康状態不明者への個別の支援（ハイリスクアプローチ）、地域高齢者の疾病予防や重症化予防及びフレイル予防の促進に取り組んだ。

(1) 介護予防プラン作成

①第1圏域（社協こもれび）

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	93	97	100	101	100	103	101	105	106	108	108	116	1,238
委託	184	185	191	189	181	184	183	183	182	179	178	176	2,195
月計	277	282	291	290	281	287	284	288	288	287	286	292	3,433

②第2圏域（社協ふれあい）

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	129	124	127	125	125	126	126	129	124	122	103	103	1,463
委託	208	213	214	210	212	211	212	212	206	198	213	211	2,520
月計	337	337	341	335	337	337	338	341	330	320	316	314	3,983

（2）総合相談

①第1圏域（社協こもれび）

（単位：件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	85	87	96	77	104	77	60	89	78	92	80	83	1,008
来所	46	28	41	40	61	52	45	64	50	39	38	30	534
訪問	10	13	19	27	14	15	2	17	12	53	24	20	226
その他	5	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3	3	14
月計	146	128	156	145	180	145	107	170	140	184	145	136	1,782

*新規・継続を含めた件数

②第2圏域（社協ふれあい）

（単位：件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	173	159	174	196	222	208	195	150	185	182	166	159	2,169
来所	26	24	31	25	24	18	21	17	12	18	24	12	252
訪問	23	25	25	26	28	39	27	32	44	20	21	26	336
その他	1	3	0	4	79	1	1	36	2	1	0	0	128
月計	223	211	230	251	353	266	244	235	243	221	211	197	2,885

*新規・継続を含めた件数

（3）各種事業の実施

①高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

（ア）第1圏域（社協こもれび）

- ・ポピュレーションアプローチ2回実施
- ・樟葉北校区（11/21、2/20）
- ・健康状態不明者への個別支援（ハイリスクアプローチ）訪問実施数（延べ）65件

（イ）第2圏域（社協ふれあい）

- ・ポピュレーションアプローチ2回実施
- ・樟葉西校区（10/25、2/28）
- ・健康状態不明者への個別支援（ハイリスクアプローチ）訪問実施数（延べ）59件

②介護予防普及啓発事業（高齢者元気はつらつ健康づくり事業）

（ア）第1圏域（社協こもれび）

- ・新型コロナウイルスによる開催自粛のため、令和4年度は開催なし。

（イ）第2圏域（社協ふれあい）

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
5/23	アスティ牧野	ノルディック教室	21
6/29	アスティ牧野	減塩による健康講座	12
9/12	養父西町集会所	認知症予防（ファイブコグ①）	19
10/17	養父西町集会所	認知症予防（ファイブコグ②）	16

③地域ケア会議・事業所懇談会等

（ア）第1圏域（社協こもれび）

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
4/27	社協こもれび会議室	居宅介護支援事業所懇談会	12
5/26	竹広内科待合室	待合室懇談会	7
6/16	社協こもれび会議室	自立支援型地域ケア会議	19

6/28	ふくろう歯科待合室	第1・第2圏域合同待合室懇談会	11
7/13	楠葉生涯学習市民センター	民生委員懇談会	40
7/19	楠葉生涯学習市民センター	第1圏域元気づくり地域づくり会議（第17回）	25
8/18	社協こもれび会議室	自立支援型地域ケア会議	12
8/19	リモート開催	通所事業所懇談会	9
8/23	リモート開催	第1・第2圏域合同居宅介護支援事業所懇談会	21
9/27	社協こもれび会議室	第1・第2圏域合同居宅介護支援事業所懇談会	13
10/7	社協こもれび会議室	多職種連携研究会事務局会議	9
10/20	社協こもれび会議室	自立支援型地域ケア会議	9
12/13	楠葉生涯学習市民センター	多職種連携研究会	34
12/15	社協こもれび会議室	自立支援型地域ケア会議	9
12/20	楠葉生涯学習市民センター	第1圏域元気づくり地域づくり会議（第18回）	34
12/22	楠葉生涯学習市民センター	第1・第2圏域合同介護事業所懇談会	28
12/24	北船橋自治会館	個別地域ケア会議	5
2/16	社協こもれび会議室	自立支援型地域ケア会議	12
2/21	社協こもれび会議室 リモート併用	多職種連携研究会事務局会議	7
3/9	楠葉生涯学習市民センター	第1圏域元気づくり地域づくり会議（第19回）	16

（イ）第2圏域（社協ふれあい）

（単位：人）

月 日	場 所	内 容	出席数
4/12	リモート開催	居宅介護支援事業所懇談会	8
4/13	社協ふれあい会議室	個別地域ケア会議	10
4/26	牧野生涯学習市民センター	民生委員懇談会	27
5/19	社協ふれあい会議室	自立支援型地域ケア会議	12
6/21	楠葉生涯学習市民センター	居宅介護支援事業所懇談会	20
6/28	ふくろう歯科待合室	第1・第2圏域合同待合室懇談会	11
8/23	リモート開催	第1・第2圏域合同居宅介護事業所懇談会	21
9/15	社協ふれあい会議室	自立支援型地域ケア会議	13
9/25	牧野生涯学習市民センター	民生委員懇談会	23
9/27	社協こもれび会議室	第1・第2圏域合同居宅介護事業所懇談会	13
10/11	リモート開催	通所事業所懇談会	8
11/17	社協ふれあい会議室	自立支援型地域ケア会議	10
11/22	リモート開催	居宅介護支援事業所懇談会	14
12/22	楠葉生涯学習市民センター	第1・第2圏域合同介護事業所懇談会	28
1/19	社協ふれあい会議室	自立支援型地域ケア会議	10
2/16	楠葉生涯学習市民センター	多職種連携研究会	33
3/10	楠葉生涯学習市民センター	樟葉西校区元気づくり・地域づくり会議	20

④地域介護予防活動支援（出前教室、認知症サポーター講座など）

第1圏域（社協こもれび）

場 所	内 容
北船橋町集会所	北船橋町喫茶つどい 出張相談 4/23・5/28・6/25・9/24・11/26・12/24・2/25
中楠葉集会所	中楠葉ふれあいカフェ 出張相談 4/27・5/25・8/24・10/26・1/25・2/17
朝日美咲自治会集会所	あさみ歌のつどい 出前講座 4/13・6/8・7/13・10/12・11/9・12/14・1/11 2/8
朝日美咲自治会集会所	樟葉南校区いきいきサロン 出前講座 5/23・6/24

楠葉野田公民館	公民館カフェ 4/25・5/19
楠葉丘集会所	丘友会 出前講座 6/25
野田北集会所	樟寿会 出前講座 4/14
面取咲が丘集会所	きずなの輪（かい） 出前講座 4/26
町楠葉福祉会館	出前講座（認知症予防・運動教室等） 7/5・10/4・11/1・12/6・2/7・3/6
北船橋町集会所	7/6 出前講座（介護保険サービスについて）

（ウ）独自介護予防活動 こもれび教室・こもれびサークル

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
4/14	社協こもれび会議室	こもれび教室「フレイル予防」	15
5/12	社協こもれび会議室	こもれび教室「ノルディックポール」	11
6/9	社協こもれび会議室	こもれび教室「いろいろ測定会」	19
6/30	社協こもれび会議室	こもれび教室「いろいろ測定会」	15
7/14	社協こもれび会議室	こもれび教室「チェアヨガ」	15
9/8	社協こもれび会議室	認知症サポーター養成講座	12
10/13	社協こもれび会議室	こもれび教室「いろいろ測定会」	9
11/10	社協こもれび会議室	こもれび教室「楠葉の歴史と街の変化」	17
12/8	社協こもれび会議室	こもれび教室「音楽で認知症を遠ざけよう」	8
1/12	社協こもれび会議室	こもれび教室「アンガーマネジメント」	11
2/9	社協こもれび会議室	こもれび教室「チェアヨガ」	10
3/6	社協こもれび会議室	こもれび教室「もしバナゲーム」	7
4～3月	社協こもれび会議室	毎週火曜日（くらわんか体操 自主グループ）	48回
4～3月	社協こもれび会議室	毎週水曜日（くらわんか体操 自主グループ）	47回

（エ）第2圏域（社協ふれあい）

（単位：人）

月日	場 所	内 容	出席数
4/26	くずは並木自治会館	おしゃべり広場『ホッと くず西』 出張相談	20
5/19	センチュリー4番館集会所	健康講座「音楽療法」	20
5/23	アスティ牧野	おしゃべり広場『ホッと くず西』 出張相談	20
6/7	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	8
6/10	養父西町自治会館	憩いの家 出張相談	14
6/15	社協ふれあい会議室	健康講座「腸内細菌」	14
6/28	くずは並木自治会館	おしゃべり広場『ホッと くず西』 出張相談	21
7/5	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	8
7/8	社協ふれあい会議室	健康講座「体力づくり教室」	17
7/14	社協ふれあい会議室	ひらっぴー倶楽部	6
8/9	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	11
8/23	くずは並木自治会館	おしゃべり広場『ホッと くず西』 出張相談	22
9/6	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	11
9/17	カフェカミュ	オレンジカフェ 出張相談	15
9/21	社協ふれあい会議室	健康教育「フレイル予防」	13
9/22	社協ふれあい会議室	ひらっぴー倶楽部	20
10/11	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	11
10/20	社協ふれあい会議室	ひらっぴー倶楽部	14
10/25	くずは並木自治会館	おしゃべり広場『ホッと くず西』 出張相談	30

11/8	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	1 0
12/6	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	1 0
12/17	カフェカミュ	オレンジカフェ 出張相談	1 5
1/17	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	1 0
2/4	カフェカミュ	オレンジカフェ 出張相談	1 5
2/14	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	1 1
2/16	センチュリー5 番館集会所	健康講座「音楽療法」	2 1
2/28	くずは並木自治会館	おしゃべり広場『ホッと くず西』 出張相談	2 1
3/14	ルファルひらかた社協	フードバンク仕分け・配布	9
3/16	センチュリー6 番館集会所	健康講座「オーラルフレイル」	3 5

- ・ひらかた夢かなえるエクササイズ オンラインによるサテライト開催を実施
社協ふれあい会議室にて月 2 回（第 2・4 金曜日の午前）
- ・ひらかた元気くらわんか体操の啓発
養父元町公園にて、月・水・金 9 時 3 0 分から開催（雨天中止）

④実習生の受け入れ

- （ア）第 1 圏域（社協こもれび） 関西医科大学、大阪医専
- （イ）第 2 圏域（社協ふれあい） 関西医科大学、大阪医専、摂南大学

（４）地域密着型サービスの運営推進会議出席

①第 1 圏域（社協こもれび）※照会での開催を含む

- ・グループホーム「くずは丘」運営推進会議に出席
- ・小規模特別養護老人ホーム「くずは美郷」の運営推進会議に出席
- ・地域密着型通所介護「一心」の運営推進会議に出席
- ・地域密着型通所介護「ロンジェヴィテ 1 2 5」の運営推進会議に出席

②第 2 圏域（社協ふれあい）

- ・小規模特別養護老人ホーム「くずは西美郷」の運営推進会議に出席
- ・小規模多機能ホーム「まきの美郷」の運営推進会議に出席
- ・地域密着型通所介護「レコードブック樟葉」の運営推進会議に出席
- ・グループホーム「のぞみ」運営推進会議に出席

（５）地域包括支援センター関係者会議出席

市内 1 3 か所の地域包括支援センターを円滑に運営するため、全体会議・保健師部会・社会福祉士部会・主任介護支援専門員部会・認知症施策検討委員会が定例（新型コロナウイルス感染拡大予防のためリモート会議の開催も含め）で開催され、担当者が出席した。

14. 居宅介護等事業

障害者総合支援法に基づく居宅介護事業、介護保険法による訪問介護事業を行った。事業全体の内、介護保険事業の割合は3.3%となっている。本会は利用者の意思及び人格の尊重とサービスの一層の充実を図るため、差別解消や虐待防止にも思慮し、月2回のサービス提供責任者会議、月2回のヘルパー会議、個別年間研修計画の作成等を行い、ヘルパーの意欲や質の向上に努めた。現任研修会は新型コロナウイルスの感染防止対策を十分に行いつつ、前期、後期の2回実施した。ヘルパー会議は密を避けるために可能な範囲で広い会場を確保して開催し、個別研修については年間6回実施した。ヘルパー業務の見直しや環境の整備等を検討するために業務改善委員会を設置し、月1回を基本に委員による協議を行った。

また、事業者が連携し障害者総合支援法を推進する「枚方市障害福祉サービス事業者連絡会」の役員として利用者主体のサービスのあり方を確認するなど、中心的な役割を担った。

(1) 利用者（契約）状況

ホームヘルプ事業の新規契約者は4月契約者を含む3人（知的3人）、契約解除者は3人（知的1人・精神1人・高齢1人）であった。

新規契約者については、障害のある人単身での生活支援の希望、高齢の親と二人暮らしで自立に向けて利用される人、生活基盤の安定の支援などが挙げられ、3月現在の契約者は全体で89人であり、年度当初と同数となっている。解約の理由は、死亡、利用者の都合などである。

ヘルパー不足は変わらず、10月によりやく1人雇用することができたが契約終了者が1人あったため、増減はなかった。利用者の生活に応じた支援のためヘルプ時間は早朝夜間に集中し、人材の確保は継続的な課題である。障害者の内訳は、知的障害者が42人（通院のみが必要な12人を含む）で最も多く、身体18人、精神19人、児童4人、難病1人、重度訪問介護2人となっている。

障害に起因する疾病等で入退院を繰り返すケースや、家族の高齢化等により通院介助が必要になったケース、一人暮らしとなって介護の必要性が増したケースが多くあった。本人の意向に添って、今後も在宅生活が可能ないようにケース会議を開く等、他機関との連携を行った。

(単位：人)

月	障害者総合支援法						介護保険法	事業合計
	居宅介護					重度訪問 介護	訪問介護	
	身体障害者	知的障害者	児童	精神障害者	難病			
4	1 8	4 1	4	2 0	1	2	4	9 0
5	1 8	4 1	4	2 0	1	2	4	9 0
6	1 8	4 2	4	2 0	1	2	3	9 0
7	1 8	4 2	4	1 9	1	2	3	8 9
8	1 8	4 2	4	1 9	1	2	3	8 9
9	1 9	4 1	4	1 9	1	2	3	8 9
1 0	1 8	4 1	4	1 9	1	2	3	8 8
1 1	1 8	4 1	4	1 9	1	2	3	8 8
1 2	1 8	4 2	4	1 9	1	2	3	8 9
1	1 8	4 2	4	1 9	1	2	3	8 9
2	1 8	4 2	4	1 9	1	2	3	8 9
3	1 8	4 2	4	1 9	1	2	3	8 9

※新規契約者は月末に解約者は月初にカウント

(2) 利用時間

ホームヘルプ事業の利用時間については、月平均 1,873.8時間で、昨年度と比して約88.4時間の減となった。内訳は介護保険の利用時間が20時間の減となり、障害福祉サービスにおいては、身体介護は21時間の増、家事援助は38時間の減、通院介護は10時間の減、重度訪問介護は40.5時間の減となっている。

(単位：時間)

月	ホームヘルプ事業利用時間								合 計
	障害者総合支援法居宅介護事業 (身体・知的・児童)			通院介護		介護保険訪問介護事業			
	家事援助	身体介護	重度訪問介護	身体介護		生活援助	身体	身体→生活	
				伴う	伴わない				
4	403.6	1,302.2	77.0	55.9	24.2	17.0	6.0	19.5	1,905.4
5	391.4	1,274.0	85.6	78.2	16.4	17.0	6.0	19.5	1,888.1
6	360.0	1,318.8	88.4	83.9	13.5	18.0	7.5	19.5	1,909.6
7	365.8	1,295.5	78.1	68.5	22.8	17.0	6.0	19.5	1,873.2
8	375.9	1,251.1	86.9	65.7	27.8	18.0	6.0	21.0	1,852.4
9	359.6	1,267.0	78.6	94.0	27.2	18.0	7.5	19.5	1,871.4
10	364.2	1,284.8	87.3	88.1	17.7	17.0	6.0	19.5	1,884.6
11	368.4	1,244.8	68.9	83.2	17.1	17.0	6.0	19.5	1,824.9
12	375.8	1,294.0	71.9	102.6	8.7	18.0	7.5	19.5	1,898.0
1	367.9	1,256.3	91.8	94.2	15.3	15.0	6.0	25.5	1,872.0
2	341.3	1,184.2	80.9	92.2	16.8	12.0	6.0	24.0	1,757.4
3	393.8	1,309.0	85.2	90.3	20.2	14.0	7.5	28.5	1,948.5
合 計	4,467.7	15,281.7	980.6	996.8	227.7	198.0	78.0	255.0	22,485.5

月平均 利用時間	1,873.8時間(総合支援ホームヘルプ約1,829.5時間 介護保険ホームヘルプ約44.3時間)
-------------	--

(3) ホームヘルパー現任研修

【全体研修】

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
9/18	ラポールひらかた 大研修室	前期研修『地域で自分らしく ～自分の居場所を見つける為に～』 講師：みいちゃんのお菓子工房代表 杉野原 千里 氏	38
2/19	ラポールひらかた 大研修室	後期研修『障害のある方が地域で暮らしていくた めに必要な支援とは』 講師：障害福祉サービス事業所(生活介護) ミント代表 中野 直子 氏	30

【個別研修】

4/17	ラポールひらかた 研修室2	『利用者、ヘルパー、それぞれの思い』	16
4/19	ラポールひらかた 研修室1	『親亡き後、障害者の独居』	12
8/16	ラポールひらかた 研修室1	『利用者から ヘルパーとのバトンタッチ』	13
8/21	ラポールひらかた 研修室1	『利用者のより良い生活を支援するとは』	14
12/18	ラポールひらかた 研修室1	『訪問の中での気づき』	17
12/20	ラポールひらかた 研修室3	『支援内容について』	12

15. 移動支援事業

障害者総合支援法に基づく市町村事業である地域生活支援事業の移動支援事業（ガイドヘルプ事業）として余暇活動、事業所及びショートステイ施設・入所施設への送迎等のサービスを行った。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大が比較的落ち着いた時期には多くの依頼があり、感染拡大の時期にはキャンセルが増え、安定した派遣には至らなかった。それでも、ガイドヘルパーの皆さんの工夫やスタッフとの連携で行先を厳選し安全の配慮を重ねながら、利用者の余暇の機会を確保することができた。本事業は単なる余暇支援ではなく、利用者が地域で暮らすための生活支援の一端を担っているため関係機関との連携を積極的に行い、必要に応じてサービス調整会議を開催した。また、感染防止に努めながらガイドヘルパー現任研修会を実施し、資質の向上に努めた。

ガイドヘルパーの確保は社協ホームページや社協だよりに募集記事を掲載するとともに大学に働きかけたり募集チラシを設置したところ、11人が新たに登録した。しかし、課題となっている若年層と男性ガイドヘルパーは、確保に努めたものの増加は厳しく、稼働人数は40人程度にとどまっている。

（1）利用（契約）者状況

移動支援事業では、新規契約者は3人。契約者は3月末現在、311人で今年度については月平均150人の利用があった。解約者は3月末で3人となっている。本会への契約希望者は多く、移動支援の利用のニーズの高さが伺えるが、現状の利用者へのサービスの質及び量の確保のため、緊急の場合を除いて新たな契約者を制限している。今年度については3月末で8人が契約待機者となっており、これらの人を受け入れる努力を行ったが待機の解消には至らなかった。その他、精神障害のある人で知的障害との重複者については知的障害者に含めている。

（単位：人）

月	移 動 支 援 事 業				合 計
	身体障害者	知的障害者	児 童	精神障害者	
4	13	295	1	0	309
5	13	295	1	0	309
6	13	294	1	0	308
7	13	294	1	0	308
8	13	294	1	0	308
9	13	294	1	0	308
10	13	293	1	0	307
11	14	293	2	0	309
12	14	293	2	0	309
1	14	293	2	0	309
2	14	293	2	0	309
3	14	293	2	0	309

（新規契約者は月末に解約者は月初にカウント）

（2）利用時間

市町村事業である移動支援事業は、他市のように1か月の区切りで時間が制限されるのではなく3か月で150時間というように利用時間を調整できるニーズに即した利用しやすい制度となっている。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で全面的な回復とはならなかったが、昨年度に比べると利用再開に至る利用者がかかり見られた。

そのため総利用時間は、47,070.25時間で月平均3,922.52時間。昨年度と比較して月平均約325時間、9%の増となった。

例年、利用の多い8月に感染拡大となり、それに伴うキャンセル・利用時間の短縮が多数発生したが、昨年と同様利用者の家族の高齢化のため週末もガイドヘルプサービスを利用して過ごされる方・利用者本人の強い希望による支援の依頼件数は減らなかった。

そのため、新規利用者の受け入れを制限せざるを得ない状況等も続いている。本事業については、ニーズの多様化は継続しており、なくてはならない支援の一つとなっている。

(単位：時間)

移 動 支 援 事 業						
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月
3,951.75	4,221.25	4,028.75	3,992.00	3,710.75	3,818.75	4,238.00
1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合 計	月平均利用時間
3,921.25	3,818.00	3,669.00	3,716.25	3,984.5	47,070.25	3,922.52

(3) ガイドヘルパー現任研修会

月 日	場 所	内 容	出席数
2/22	ラポールひらかた 大研修室	テーマ：「知的障害のある人の支援について」 講 師：（社福）であい共生舎 津田 佳子 氏	5 9 人
3/15			3 2 人

16. 地域活動支援センター（ゆい）事業

「地域支援センターゆい」は、障害のある人の地域生活を支援することを目的に、地域活動支援センターⅠ型事業や障害者相談支援事業を実施した。

今年度も新型コロナウイルス感染対策としてセンター利用者やボランティアには手洗い、消毒、検温等を徹底してサロンを開催。津田地域の協力を得て津田集会所での出張相談会及びサロンも毎月実施した。「ルファルひらかた社協」啓発行事として8月25日に夏まつり、12月22日はクリスマス会を実施した。センター利用者やボランティア等の交流、憩いの場としてのサロン活動を通しての相談にも対応した。また、障害のある人もない人も共に楽しめる行事としてボランティアグループの協力による「夏休み作って遊ぼう！工作教室」や住民参加型の健康増進イベントとして「わいわいウォークラリー」を開催した。

障害者相談支援事業では、来所、電話、訪問相談等、主に知的障害のある人の相談に対応した。基幹型相談支援センターとして虐待ケースや支援困難なケースにも枚方市や他の関係機関と連携して支援を行った。

「枚方市自立支援協議会」にも参画。枚方市や関係機関と連携、協力しながら障害者施策についての検討や提案を行った。

(1) 地域活動支援センター事業Ⅰ型

基 礎 的 事 業				Ⅰ 型 事 業		
	創作活動	生産活動	その他	医療・福祉及び 地域との連携の ための調整	地域住民・ボ ランティア育 成	障害に対する理 解促進を図るた めの普及活動
合計	289人	70人	5,699人	54回	194人	15回

(2) ジョイジョイサークル活動・当事者の集い (単位：人)

事 業 名	開催月	参加者数	ボランティア数	内 容
ジョイジョイサークル (市内在住・就労の知的障害のある人を対象にレクリエーションを中心としたサークル活動)	4 月	14	2	外出活動（京都水族館・鉄道博物館）
	5 月	17	0	ミーティング
	6 月	16	4	ボウリング
	7 月	10	0	学習会
	8 月	12	7	夏休み作って遊ぼう！工作教室
	9 月	17	0	ミーティング
	10 月	7	22	スポーツ交流会
	11 月	8	11	わいわいウォークラリー
	12 月	16	0	ジョイフルクリスマス会
	1 月	15	0	新年会

	2月	16	0	ミーティング
	3月	15	2	日帰りバス旅行（神戸方面）
合 計（延べ人数）		163	48	

（３）学習会

（単位：人）

月 日	開催テーマ	参加者人数	支援者等	合 計
7/17	「一緒に学ぼう いっぱい語ろう」	38	13	51

（４）夏休み作って遊ぼう！工作教室（協力：おもちゃ病院ひらかた）

（単位：人）

月 日	参加者人数	支援者等	ボランティア	合 計
8/21	45	24	12	81

（５）わいわいウォークラリー

（単位：人）

月 日	参加者人数	支援者等	ボランティア	合 計
10/30	34	22	11	67

（６）障害者相談支援事業

（単位：人）

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒不安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援
相談件数	1,012	20	289	112	4	254
	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他
相談件数	129	605	53	105	45	20
合 計 （のべ件数）						2,648

17. 障害者活動支援事業

障害のある人が社会参加や交流する機会として、各種レクリエーション行事を実施し、障害のある人の自立と社会参加を図った。

10月に実施した「ふれあいスポーツ交流会」は、新型コロナウイルス感染拡大もあり、最終的に参加事業所数は2事業所となり、その他は事業所単位の参加ではなく個人参加という形となった。個人参加者はガイドヘルパーを利用して参加する人が多かった。競技内容等の簡素化や時間短縮、また実行委員会では初めてのウェブ会議を導入するなど創意工夫を行った。しかし、室内での大人数での開催やマスクの着用のルールなどにより参加を見送った団体が多かった。

12月に実施した「ジョイフルクリスマス会」では、昨年度は定員を減らし実施したが、今年度は定員100人で98人の応募があった。当日の参加者はコロナ感染拡大の増加時期と重なったため83人の参加にとどまった。運営は参加者同士の距離を空けて座席配置を行うなど、感染対策を講じ実施した。アトラクションについては昨年同様、鑑賞型で行った。

（単位：人）

事 業 名	開催日	参加者数	ボランティア数	内 容
ふれあいスポーツ交流会	10/8	53	22	レクリエーション行事 KTM 河本工業総合体育館
ジョイフルクリスマス会	12/19	83	5	レクリエーション行事 ラポールひらかた

18. 共同生活援助事業

利用者が安心した地域生活を送ることができるよう、4か所のグループホーム「れいんぼう」「ひまわり」「憩い苑ホーム」「たんぽぽ」の運営を行った。

各グループホームともに、通院が必要な利用者が増加していることで、通所事業所や高齢分野の介護支援専門員、介護事業所、医療機関等の関係機関と連携するなど、生活スタイルの変化に対応した。利用者に健診を受けてもらうなど体調管理にも努めた。

グループホームの運営を担う世話人の資質向上、育成を目的とした全体研修会「緊急時の対応・応急手当について」を実施、自己点検アンケートを実施して一人ひとりの日常の仕事についての見直しを行い、支援の向上に努めた。利用者アンケートを実施し課題点を把握することで運営の改善を図った。

グループホーム世話人研修

(単位：回／人)

項 目	内 容	場 所	回数	参加者(延べ)
世話人初任者研修	世話人の支援のあり方(現地実習)	各グループホーム	2	2
世話人内部研修	利用者の支援について個別支援計画等	各グループホーム	4 8	2 8 2
世話人内部研修	障害者差別解消法について	ラポールひらかた	1	2
世話人外部研修	枚方市グループホーム世話人研修会 緊急時の対応、応急手当について	ラポールひらかた	1	2
全体世話人会議 (研修)	虐待防止、差別解消、感染予防	ラポールひらかた	1	1 3

19. 成年後見等事業

「ひらかた権利擁護成年後見センター(こうけん ひらかた)」の運営を行う中で、成年後見制度に関する相談や申立書類の書き方、手続きに関する説明や助言などを行った。法的課題や専門的知識が必要となる複雑なケースについては、弁護士、司法書士、社会福祉士の専門職による無料の専門相談を実施したほか、10月より各相談支援機関等からの要請に基づき、枚方市内の支援チームの会議等に、権利擁護支援や成年後見制度に精通した専門職(弁護士・司法書士・社会福祉士)を派遣し、課題整理や成年後見制度利用の必要性の判断、今後の方針等についての助言・支援を行った。

また、「ひらかた権利擁護成年後見センター運営委員会」や、「枚方市地域連携ネットワーク協議会」を開催するとともに、日々相談業務にあたる支援者を中心とした「相談支援部会」も設置し、チーム支援の現状や課題の共有や、支援者に対する研修についても検討した。

さらに、市民後見人の養成や受任調整を枚方市及び大阪府社会福祉協議会とともに実施したほか、市民後見人の後見活動に対しても継続的な支援を行った。

(1) 成年後見制度に関する相談・支援

①主たる相談者

相談者内訳	件 数	相談者内訳	件 数
本人	8 2	友人・近隣住民等	7
家族・親族	2 9 5	金融機関	2
支援関係者	1 9 4	その他(匿名)	1 4
合 計			5 9 4

②対象者(重複あり)

対象者内訳	件 数	対象者内訳	件 数
認知症高齢者	2 3 2	精神障害者	9 9
知的障害者	6 5	その他	1 9 8
合 計			5 9 4

③相談内容(重複あり)

内 容	件 数	内 容	件 数
成年後見に関すること	3 7 1	財産管理関係	1 2 6
任意後見に関すること	4 8	DV・虐待関係	4
申立てに関すること	1 2 9	権利擁護関係	3 2
福祉制度・サービス関係	2 0	チーム支援	5 2

身上保護関係	6 2	その他	3 1
合 計			8 7 5

(2) 専門職による専門相談及び専門職派遣事業の実施

専門職の弁護士・司法書士・社会福祉士による無料の専門相談を市民向けに開催。また10月よりチーム支援を行うため、成年後見制度や権利擁護支援に精通した専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士）を現場に派遣し、課題の整理等を行う専門職派遣事業を実施。

①専門相談 (単位：件)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
3	1	1	2	3	1	0	0	0	0	1	3	1 5

※毎月第2・3・4水曜日に予約制で開催 1回最大3組まで

②専門職派遣事業（10月より実施） (単位：件)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
						1	0	1	0	0	1	3

※毎月第1・3水曜日に支援者からの予約制で開催 1回1組のみ

(3) 会議の開催状況

①運営委員会 (単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
5/20	枚方市役所別館 第4委員会室	・令和3年度 こうけん ひらかた実績報告について ・令和4年度 こうけん ひらかた年間計画について ・地域連携ネットワーク協議会について	1 2
10/27	ラポールひらかた 研修室2	・枚方市地域連携ネットワーク協議会について ・枚方市地域連携ネットワーク協議会 相談支援部会について ・専門職派遣事業について ・各相談等実績報告及び現状の課題について ・令和4年度 支援者向け研修会について	1 2
3/7	ラポールひらかた 研修室2	・枚方市地域連携ネットワーク協議会及び相談支援部会の報告について ・各相談等実績報告及び現状の課題について ・令和5年度 こうけん ひらかた年間計画について ・こうけん ひらかたホームページ開設について ・市民後見人啓発動画について	1 4

②枚方市地域連携ネットワーク協議会 (単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
9/16	枚方市役所別館 第3委員会室	・こうけん ひらかたの活動状況について ・枚方市地域連携ネットワーク協議会 相談支援部会について ・専門職派遣事業について ・意見交換・情報共有	2 1
2/10	ラポールひらかた 研修室1	・こうけん ひらかたの活動状況について ・各団体からの情報提供「判断能力が低下した方の対応に関する配慮や課題に感じる事」 ・枚方市地域連携ネットワーク協議会 相談支援部会の報告について ・専門職派遣事業の状況について ・こうけん ひらかたホームページ開設について	2 2

③枚方市地域連携ネットワーク協議会 相談支援部会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
12/23	ラポールひらかた 集会室	・「権利擁護支援」や「成年後見制度」等に関する学びたい ことについての意見交換 ・こうけん ひらかたからのケース紹介 ・今後の計画について	14

(4) 研修・講習会

①市民啓発講座

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
9/30	ラポールひらかた 大研修室	テーマ：将来に備えて今からできることってなんだろう？ ～任意後見制度と死後の手続きのおはなし～ 講 師：佐藤好恵行政書士事務所 行政書士 佐藤 好恵 氏	55

②支援者研修

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
2/13	ラポールひらかた 大研修室	テーマ：法テラスを活用した高齢者や障害者の権利擁護支援 について 講 師：日本司法支援センター 大阪地方事務所 古川 直子 氏 湯川 ゆかり 氏	30

③説明会・研修会への出張

月 日	対象者	内 容
5/23	民生委員 明倫・中宮・中宮北校区	テーマ：知っておきたい 生活とお金を守る制度 ～「成年後見制度」と「こうけん ひらかた」～
7/13	りそな銀行香里支店行員	テーマ：成年後見制度について
9/28	ふくしのまちづくり円卓会議	テーマ：ひらかた権利擁護成年後見センターについて
10/26	大阪精神医療センター家族会 (乃ぎく会)	テーマ：知っておきたい 生活とお金を守る制度 ～「成年後見制度」と「こうけん ひらかた」～
11/17	地域包括支援センター 第3圏域事業所職員	テーマ：成年後見制度および日常生活自立支援事業 の現状について
11/25	わかたけ家族会	テーマ：成年後見制度について
12/12	地域包括支援センター 第10圏域事業所職員	テーマ：知っておきたい 生活とお金を守る制度 ～「成年後見制度」と「こうけん ひらかた」～ (オンラインで実施)
3/8	とくふうホーム家族会	テーマ：成年後見制度について
3/9	地域福祉セミナー	テーマ：～いざという時、困らないために～ 知っておこう！「成年後見制度」

(5) 広報・啓発活動

- ①パンフレット 2, 500部 増刷、配付
- ②専門相談チラシ 25, 000部 作成、配付
- ③専門職派遣事業チラシ 650部 作成、配付
- ④こうけん ひらかたホームページ開設

(6) 市民後見人養成事業

市民後見人の後見活動の支援や大阪府社会福祉協議会が行う市民後見人養成講座への応援、バンク登録者への支援業務を行った。

- ・市民後見人バンク登録者 16人 (R5.3.31 現在)
- ・市民後見人受任件数 4件

①市民後見人の活動支援状況(市民後見人からの相談内容)

内 容	件 数	内 容	件 数
選任までの支援	3	居住地について	1
家庭裁判所への報告書作成	3 1	地域との連携	0
身上保護(医療・介護サービス)	4 8	終了・辞任について	7
財産管理・金銭管理	3 8	センター業務について	1 2
対象者の理解と支援	3 1	その他	2
関係機関との連携	2 9		
計			2 0 2

②市民後見人養成事業

- ・市民後見人養成講座への同行 6/25 ~ 2/11
- ・オリエンテーション
- ・市民後見人養成講座 基礎講習 4回
- ・市民後見人養成講座 実務講習 5回
- ・市民後見人養成講座 受講者面接 2回

③市民後見人バンク登録者フォローアップ研修

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
9/15	ラポールひらかた 研修室2	テーマ：認知症の人とのコミュニケーション 心と行動の理解 ・認知症高齢者の特性と関わり方を学ぶ ・ペアワーク(コミュニケーションの実践) 講 師：認知症 MIRAI づくりミーティング 顧問 山戸 江利香 氏	8
3/10	ラポールひらかた 研修室1	テーマ：意思決定支援研修 ・専門職後見人による活動報告及び 事例検討(グループワーク) 講 師：公益財団法人 大阪社会福祉士会 社会福祉士 稲村 啓子 氏 社会福祉士 前川 敦 氏	7

④市民後見人受任調整会議等

対象者なし

(7) 法人後見事業

日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)利用者のうち、契約時と比べて、判断能力がさらに低下した利用者を対象として、本会が成年後見人等となり、対象者の財産管理・身上監護を行った。

①申立件数と受任件数

令和4年度 受任件数

(単位：件)

内 訳	後見申立	保佐申立	補助申立
認知症高齢者等	2	1	0
知的障害者等	0	0	0
精神障害者等	0	0	0

②支援回数

515回(自宅・施設訪問、金銭の支払い業務、契約・解約手続、死後事務等)

③法人後見事業審査委員会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
7/6	ラポールひらかた	・被後見人の現状報告 ・対象者の審査	6
3/2	ラポールひらかた	・法人後見事業実施要綱の改正について ・被後見人の現状報告 ・対象者の審査	4

20. 総合福祉会館福祉相談・福祉情報提供事業

枚方市立総合福祉会館4階の図書コーナーにて福祉関係図書の貸し出しや返却を含める管理業務と各種福祉情報の提供業務に加え、福祉相談業務を実施した。スタッフは全員障害当事者を配置し、ピアカウンセリングの対応も可能となるように研修等を行った。

(1) 福祉相談業務

開室日	3 4 7 日
年間来所者	4, 6 6 1 人
相談件数	2 0 件

※相談件数が大きく伸びることはなかったが、継続的に相談を希望される人からの相談があった。同種の障害がある相談員がいることが安心につながっている。

(2) 福祉情報提供業務

福祉図書やビデオ・DVDの貸出し、返却

図 書	貸出し	1, 0 0 6 冊
	返却	9 6 4 冊
	廃棄	2 7 冊
ビデオ DVD	貸出し	0 本
	返却	0 本
	廃棄	0 本
新規登録者（貸出利用者登録）		7 1 人

※福祉図書の貸出し件数は、コロナによる閉館等の影響を受けながらも徐々に増えてきた。貸出し利用者の新規登録も同様に一定数の増加が見られた。

(3) 福祉図書の購入

福祉、医療、環境等をテーマにした図書および雑誌、新聞の購入・購読

種 類	
福祉関連書籍	3 1 冊
コミックス	1 0 冊
雑誌	2 種類（月間福祉他）
新聞	2 部（日刊紙・福祉新聞）

(4) 研修

障害当事者スタッフのピアカウンセリング研修

月 日	内 容	対象
1 2 / 5	「ピアカウンセリングとは」 講師：ピアサポートセンター堺センター長 北村 和孝 氏	当事者スタッフ

2 1. 総合福祉会館管理運営事業

障害者や高齢者などの生活支援に必要な情報やサービスの提供、各施設等の貸し出しなどを通じ、市民の福祉活動やボランティア活動等の支援を行った。

令和2年から続く新型コロナウイルス感染症は、第6～8波と拡大・縮小を繰り返したが、利用者の理解・協力を得て利用制限による感染予防対策を行い、開館を継続した。

(1) 開館日数

(単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
日 数	29	30	29	30	30	29	30	29	27	27	27	30	347

(2) 部屋別利用状況

①有料室

(単位：件)

室 名	午 前	午 後	夜 間	合 計	稼働率(%)
研修室1	2 1 8	2 6 0	1 3 5	6 1 3	5 8 . 9
研修室2	2 1 2	2 5 4	1 7 6	6 4 2	6 1 . 7
研修室3	1 7 0	2 3 6	1 0 8	5 1 4	4 9 . 4
研修室4	2 3 6	2 5 9	1 8 4	6 7 9	6 5 . 2
集会室	1 7 0	2 2 4	9 0	4 8 4	4 6 . 5
和室	9 5	1 4 6	1 0	2 5 1	2 4 . 1
大研修室	2 4 2	2 8 5	8 1	6 0 8	5 8 . 4
保育室	5 7	3 2	7	9 6	9 . 2
作業室	6 3	9 6	3 7	1 9 6	1 8 . 8
日常生活訓練室	5 9	6 2	4 3	1 6 4	1 5 . 8
合 計	1, 5 2 2	1, 8 5 4	8 7 1	4, 2 4 7	4 0 . 8

②無料室

(単位：件)

室 名	午 前	午 後	夜 間	合 計	稼働率(%)
ミーティングルーム1	2 4 0	2 4 4	1 8 6	6 7 0	6 4 . 4
ミーティングルーム2	2 3 8	2 4 3	1 8 3	6 6 4	6 3 . 8
ミーティングルーム3	2 6 5	2 5 0	1 8	5 3 3	5 1 . 2
福祉団体共用ルーム	1 5 3	2 1 1	7 3	4 3 7	4 2 . 0
福祉情報製作室	9 9	5 0	1	1 5 0	1 4 . 4
録音室	0	0	0	0	0 . 0
合 計	9 9 5	9 9 8	4 6 1	2, 4 5 4	3 9 . 3

③施設見学受入状況

(単位：件・人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

④登録団体の状況

登録団体数	1 2 7 団体
-------	----------

(内訳) 障害者団体：6 4 団体／ボランティア団体：5 6 団体／その他団体：7 団体 (法人団体等)

⑤温水プール事業

高度下水処理水が断水し冷暖房・昇温運転を停止したため、令和5年1月18日～2月19日及び、3月17日～3月31日は臨時休業した。

(ア) 開業日数と利用区分別の利用状況

開業日数 (単位：日)		利用者の区分 (単位：人)				
		4～14 歳	15～64 歳	65 歳以上	障害者	月計
4 月	2 5	2 5 0	6 7 4	7 3 0	1, 0 4 8	2, 7 0 2
5 月	2 5	3 7 4	8 8 0	7 5 0	1, 1 2 2	3, 1 2 6

6月	25	502	1,144	896	1,384	3,926
7月	23	889	1,328	724	1,215	4,156
8月	25	777	1,407	787	1,200	4,171
9月	25	387	1,019	783	1,321	3,510
10月	26	315	976	904	1,256	3,451
11月	24	283	814	775	1,130	3,002
12月	23	136	589	665	985	2,375
1月	11	88	329	303	438	1,158
2月	7	56	195	169	271	691
3月	13	69	371	422	596	1,458
年計	252	4,126	9,726	7,908	11,966	33,726
		(12.2%)	(28.8%)	(23.5%)	(35.5%)	(100.00%)

(イ) 水泳教室等の開催状況

(単位：回／人)

(△)は臨時休業等に伴う中止回数

教 室	開 催 日 程	開催回数	参加者数 (延べ)
しっかり泳ごう障害者水泳教室 (中学生以上)	6／19 , 10／16 1／15	3	42
泳ぎを習得障害者水泳教室 (中学生以上)	4／17	(△)0	新型コロナ感染予防の 為中止
	12／18	1	10
	3／19	(△)0	0
障害児ファミリー水泳教室	9／10 ～ 10／22	7	94
	1／14 ～ 2／25	(△)6	16
障害児(者)親子水泳教室 (小学生以上)	5／14 ～ 6／25	7	139
障害児(者)水泳教室 (小学生以上)	11／5 ～ 12／17	7	120
障害児短期水泳教室 (小学生)	3／29 ～ 3／31	(△)3	0
高齢者初級水泳教室	9／7 ～ 10／19	7	91
初心者水泳教室	5／11 ～ 6／22	7	102
	11／2 ～ 12／24	7	82
	1／11 ～ 2／22	(△)6	8
中級水泳教室	9／9 ～ 10／21	7	64
	1／13 ～ 2／24	(△)6	7
アクアウォーキング教室	5／12 ～ 6／23	7	113
	9／8 ～ 10／20	7	117
	11／3 ～ 12／15	7	107
	1／12 ～ 2／23	(△)6	16
水中体操教室	5／12 ～ 6／23	7	113
	9／8 ～ 10／20	7	113
	11／3 ～ 12／15	7	110
	1／12 ～ 2／23	(△)6	16
アクアビクス教室	5／12 ～ 6／23	7	87
	7／7 ～ 8／25	7	136
	9／8 ～ 10／20	7	130
	11／3 ～ 12／15	7	105
	1／12 ～ 2／23	(△)6	13
サポート水泳教室①	5／11 ～ 6／22	7	70
	9／7 ～ 10／19	7	61
	11／2 ～ 12／14	7	63

		1 / 1 1 ~ 2 / 2 2	(△6) 1	9
サポート水泳教室②		5 / 1 3 ~ 6 / 2 4	7	5 9
		9 / 9 ~ 1 0 / 2 1	7	6 7
		1 1 / 4 ~ 1 2 / 1 6	7	6 4
		1 / 1 3 ~ 2 / 2 4	(△6) 1	8
		5 / 1 1 ~ 6 / 2 2	7	8 7
エンジョイ水中運動教室		7 / 6 ~ 8 / 1 7	7	1 1 2
		9 / 7 ~ 1 0 / 1 9	7	1 1 7
		1 1 / 2 ~ 1 2 / 1 4	7	1 0 9
		1 / 1 1 ~ 2 / 2 2	(△6) 1	1 6
リフレッシュ 講座	体すっきりケア	3 / 2, 1 6	(△2) 0	臨時休業のため企画中止
	アクアビクス	3 / 2, 9, 1 6, 2 3	(△1) 3	3 5
	のんびり水中運動	3 / 9	(△1) 0	臨時休業のため企画中止
スイミングセミナー		5 / 1 5, 9 / 1 8, 1 1 / 2 0	3	1 8
		2 / 1 9	(△1) 0	
チャレンジ水泳教室		7 / 2 7, 2 8, 2 9	3	4 3
合 計			(△64) 2 1 7	2, 8 8 9

(3) 車いす貸し出し状況

(単位：台・件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出件数(件)	6	5	11	8	11	7	18	18	15	7	5	11	122
貸出台数(台)	6	5	11	8	11	7	18	18	15	7	5	11	122

※車いす総保有台数 5台 (自走車 3台、介助車 2台)

(4) 各種事業の開催

①福祉 (いきいき) 講座

(単位：人)

月日	内 容	出席数(延べ)
中止 (全 3 回)	◎シニア世代の歌体操教室 (対象：60 歳以上) 「みんなで始める歌体操 ～歌って動いていきいきライフ～」 講師：ボランティアグループ いきいき歌体操HANDひらかた	新型コロナ 感染予防の為 中止
10/7～ 11/18 (全 6 回)	◎シニア世代の健康体操教室 (対象：60 歳以上) 「シニア世代の健康体操～脳・心・体の三方良しの健康体操～」 講師：健康運動指導士 康本 貞恵 氏	1 6 5
11/21 (全 1 回)	◎健康講座「おいしく食べていきいき生きる！」 「100 歳目指す食事と運動とは ～有効的なタンパク質の摂取方法～」 講師：ひらかた地域活動栄養士会 栄養アドバイザー「萌」 西岡 愛梨 氏、谷渕 郁 氏 マックススポーツ株式会社 健康運動療法士	4 1
中止	◎やさしい介護術 「現役ホームヘルパーから学ぶ介護のコツと実技」 講師：枚方市社会福祉協議会 在宅福祉課 職員	新型コロナ 感染予防の為 中止

②市民講座

(単位：人)

月日	内 容	出席数(延べ)
5/20～7/8 (全 8 回)	◎はじめてのヨガ教室 (対象：高校生以上のヨガ初心者) 講師：(特活)日本YOGA連盟 先川 秀子 氏	4 9

6/6～8/1 (全8回)	◎はじめての太極拳教室 (対象：高校生以上の太極拳初心者) 講師：大阪武術太極拳連盟 A級指導員 岸本 康宏 氏	86
中止	◎夏休み子ども市民講座 (対象：小学生)	新型コロナ 感染予防の為 中止

③ボランティアセンターとの共催事業

手作りおもちゃ講習会、ボランティア講座を開催（詳細は、ボランティア活動推進事業に掲載）

④ラポールいこいのミニライブ開催状況

各グループ・サークルが日頃の練習成果を披露し、観客と膝と膝を合わせた一体感ある手作りライブ・市民交流の場となるように、1階正面玄関ロビーを開放。併せて総合福祉会館の利用を促し、新たな利用者を開拓してきた。令和3年度は開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染予防をはじめ、貸室利用や総合文化芸術センターと相互利用する来館者の増加でロビー・トイレといった共用施設の混雑が増えたため、ロビーを専用するライブの開催は断念した。

*開催状況

月	回数(回)	内 容
4～3	0	※新型コロナウイルス感染予防の為中止

(5) HUG 共同事業体会議

10/11 ・令和4年度の事業状況について ・モニタリングについて

2/16 ・光熱水費の高騰について ・高度下水処理水停止に伴う影響について 等

(6) 研修事業等の実施

職員の資質並びに利用者サービスの向上・安全管理の面から下記の研修会を実施。また、関係機関が実施した研修会等にも参加。

10/7 消防総合・防犯訓練、3/15 消防部分訓練(避難器具・高圧ガス施設見学など)

10/27 接遇・人権研修(障害者差別解消法・高次脳機能障害について)